

令和元年度

学校要覧・教育計画



北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

〒098-1501 北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1
TEL 01656-5-3044・3855
FAX 01656-5-3838

ホームページアドレス <http://www.otoinepu-h.ed.jp/>
Eメールアドレス otokoh@seagreen.ocn.ne.jp

目 次

校章・校歌	1
沿革の概要	2
北海道教育の基本理念	3
上川管内教育推進の重点・音威子府村教育目標	4
校訓・学校教育目標 重点目標 経営方針 教育課程編成の方針 指導上の重点項目	5
学校経営方針	6
教育課程表 令和元年産入学者教育課程表 学年別教育課程表	7
組織及び構成 組織構成図 各種委員会の役割 教職員の構成 教職員一覧	9
生徒状況 生徒出身地別人数 生徒数 進路状況 卒業生総数	11
日課表・各種団体	13
各分掌の計画 総務部 教務部 生徒指導部 進路指導部	14
学年・学級・学科経営計画 第1学年 第2学年 第3学年 工芸科	24
総合的な探究の時間全体計画	30
特別活動全体計画	31
学年別LHR活動年間指導計画 第1学年 第2学年 第3学年	34
道徳教育全体計画	37
高大連携教育計画・学校間連携教育計画	38
いじめ対策	39
校舎平面図・施設設備の概要	41
ゼセネシリ寮概要 寮生数 寮運営機構 寮平面図	42
安全計画と安全管理	43
年間行事予定表	48

校 章



菅成子府村は馬鈴薯の名産地であることから、その葉の形を描き、三方に配してあらゆる方面に発展してゆくという意味をもたせた。

なかの文字は、菅成子府の「菅」の字を外側に書き、そのなかに「高」の文字を配した。

校 歌

作詞 島 本 勇
作曲 浅 井 昌 明

てん ぼく の み ね あい よる は ぎ ー ま
か っ こ う よ べ ば み どり が こ た う
わ か き い の も の あ ら る ま ゆ に
し ん り と セ ー い ぎ あ お ぎ て つ づ け た た え
よ た た え よ あ あ わ が が く え ん

校 歌

作詞 島 本 勇
作曲 浅 井 昌 明

一、天北の嶺 相寄る巖
かっこう呼べば 緑が応う
若き命の 溢るる巖に
真理と正義 向きて集う
讃えよ 讃えよ
あ、我が学園

二、天崖の流れ 紫紺を映し
白雲悠々 牧場のサイロ口
若き命の 高なる胸に
自主と自由を あこがれ集う
栄えあれ 栄えあれ
あ、我が学園

三、六華かがやき 露華さらめく
平和の郷や 夢はるかなり
若き命を 清らに容せて
友愛の手を わすびて棄う
麗わし 麗わし
あ、我が学園

沿革の概要

25. 4. 1	北海道名寄商業高等学校を感子商科校として認可され、感子商科中学校に設置	17. 10. 17	第24回本の手づくり展開催	【札幌～18】
25. 5. 10	開校式挙行	18. 6. 29	第3回上川合同庁舎生徒作品展	【～ 7/ 7】
25. 11. 19	北海道名寄商業高等学校より北海道名寄高等学校に改称	18. 8. 14	第2回本の手づくり展開催	【札幌～18】
25. 12. 20	本校舎（98.75㎡）竣工	18. 10. 1	学校評議員会設置	
26. 8. 30	本校舎（254.9㎡）竣工	19. 2. 22	上川管内教育実習発表会を受賞	
26. 2. 3	運動部を示すより独立認可、北海道名寄子高等学校と改称す	18. 4. 1	国立教育政策研究所教育課程研究指定校【「工芸1」】	
26. 12. 30	本校舎を備（72.6㎡）増築落成	19. 5. 10	高大連携教育実践研習式（北海道東海大学）	
29. 8. 1	北海道札幌南高等学校通信教育部を廃校となる	18. 6. 5	北海道教育大学道庁校とのジョイント共同制作	【～ 8】
30. 6. 1	定例学級課程第一種高等学校に認可	19. 6. 25	第3回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～ 7/ 6】
30. 6. 1	北海道札幌南高等学校通信教育部を地方協力校となる	18. 10. 15	高大連携教育としてデザインスクールを実施	【留学生と各受入～24】
30. 11. 14	本校舎を備（181.5㎡）および体育館増築落成	19. 10. 19	新潟工芸教育実践研究会	
35. 12. 12	創立40周年記念祝賀式典（P.T.Aよりランドピアノ寄贈）	18. 11. 5	第24回本の手づくり展開催開催	【道庁～ 7】
38. 4. 1	工業科目を採択、自動車一般の授業科目の導入	20. 5. 17	国際理解教育	【生徒と各受入～47】
38. 6. 22	工業実習室並びに公称棟増築落成	20. 6. 30	第5回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～ 7/11】
38. 8. 30	自動車修習場設置	20. 7. 1	アジアプリントアドベンチャーにて重演制作	
41. 6. 10	旧校舎を備（1,343㎡）落成	20. 8. 13	第24回本の手づくり展開催開催	【道庁～18】
41. 11. 8	屋内体育館（735㎡）落成	20. 10. 14	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～28】
44. 12. 5	創立50周年記念祝賀式典	20. 10. 15	スウェーデン、レクサンド高校との姉妹校提携研習式	
50. 3. 31	自動車一般の授業を再開	20. 10. 16	北海道教育実践研究会を受賞	
52. 12. 3	高校評議員会改選委員会発足	21. 4. 1	国立教育政策研究所教育課程研究指定校【「工芸1」】	
54. 4. 1	芸術として「工芸、彫刻科目」としてインテリア実習室を採択	21. 6. 24	第9回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～ 7/ 7】
55. 5. 24	工業実習室の改修によるインテリア実習室竣工	21. 8. 10	第3回本の手づくり展開催開催	【道庁～12】
56. 6. 30	インテリア実習室竣工披露	21. 8. 26	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒3名派遣～19/ 7】
58. 2. 5	「北海道知事賞」を受賞	21. 8. 1	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～18】
58. 10. 15	青春会（チセネシリ寮）落成、入寮式挙行	22. 3. 31	女子体育館落成	
58. 12. 7	第1回本の手づくり展開催開催	22. 5. 4	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～18】
58. 12. 27	創立50周年記念式典挙行	22. 6. 25	第9回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～ 7/ 8】
59. 11. 14	第2回本の手づくり展開催開催【旭川、札幌、名寄～1/24】	22. 8. 9	国際理解教育	【道庁～11】
59. 11. 30	青春会（チセネシリ寮）全館落成、124人収容	22. 11. 10	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～28】
59. 12. 7	【第4回北海道高等学校文化祭】を受賞	23. 6. 24	第10回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～ 7/ 7】
59. 2. 15	第3回本の手づくり展開催開催【木材工芸展】開催【名寄～17】	23. 8. 9	第10回本の手づくり展開催開催	【道庁～16】
59. 2. 3	第4回本の手づくり展開催開催【名寄～ 6】	23. 11. 1	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～22】
59. 11. 11	第5回本の手づくり展開催開催【旭川、札幌、名寄～1/31】	23. 10. 20	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～24】
59. 12. 9	付立金日割調整・工芸に関する学科、工芸科へ転換認可	24. 4. 20	本の手づくり展開催開催	【東京～16】
59. 4. 1	同上発足（1期生、文員の名）	24. 5. 7	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～18】
60. 1. 21	第6回本の手づくり展開催開催【名寄～28】	24. 6. 8	第9回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～22】
60. 1. 20	新校舎（第1期工事）完成	24. 8. 13	第10回本の手づくり展開催開催	【道庁～15】
61. 1. 10	第7回本の手づくり展開催開催【札幌～17】	24. 11. 21	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～24】
61. 10. 25	新校舎工芸棟（第2期工事）落成、落成記念式典	25. 4. 1	国立教育政策研究所教育課程研究指定校【「工芸1」】	
62. 1. 10	全日割調整・工芸科第一回卒業式	25. 6. 5	第10回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～21】
62. 3. 1	定例学級課程開設	25. 8. 5	第10回本の手づくり展開催開催	【道庁～ 7】
62. 1. 7	第8回本の手づくり展開催開催【札幌～13】	25. 8. 16	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～27】
62. 2. 15	上川管内教育実践研究会を受賞	25. 10. 20	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～24】
63. 11. 5	第9回本の手づくり展開催開催	25. 10. 22	高大連携教育実践研習式（東海大学国際文化学部）	
63. 11. 30	チセネシリ寮学級修繕後落成	26. 3. 20	女子体育館落成	
2. 1. 9	第10回本の手づくり展開催開催	26. 6. 13	第11回本の手づくり展開催開催	【上川合同庁舎～27】
2. 5. 24	創立50周年記念 樹木標本植樹	26. 8. 4	第12回本の手づくり展開催開催	【道庁～ 6】
2. 11. 14	第11回本の手づくり展開催開催【旭川～18】	26. 10. 15	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～24】
2. 12. 3	創立50周年記念 学校名標示塔建立	26. 11. 9	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～15】
4. 1. 8	第12回本の手づくり展開催開催	27. 10. 1	第24回全国高等学校スキー大会 総合優勝【秋田】	
4. 1. 19	第13回本の手づくり展開催開催【旭川～23】	27. 6. 12	第12回本の手づくり展開催開催【デザインギャラリー～14】	
6. 1. 4	第14回本の手づくり展開催開催【札幌～ 7】	27. 8. 3	第13回本の手づくり展開催開催	【道庁～21】
6. 11. 15	第15回本の手づくり展開催開催【旭川～28】	27. 10. 10	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～24】
8. 12. 15	屋内体育館（1003㎡）改築落成	28. 1. 20	本の手づくり展開催開催	【札幌かどろ2～24】
8. 12. 15	武道資料（525㎡）増築落成	28. 1. 31	第2次全道展	
8. 1. 0	第16回本の手づくり展開催開催【札幌～12】	28. 2. 9	第24回全国高等学校スキー大会 総合優勝 2連続	
8. 8. 29	第17回本の手づくり展開催開催【札幌～10/ 5】	28. 10. 10	第13回本の手づくり展開催開催【デザインギャラリー～12】	
8. 12. 13	第18回本の手づくり展開催開催【旭川～17】	28. 7. 16	2016年の国連フェア参加	【埼玉～5】
10. 8. 8	第19回本の手づくり展開催開催【札幌～ 8】	28. 8. 1	第14回本の手づくり展開催開催	【道庁～ 8】
11. 10. 6	第20回本の手づくり展開催開催【札幌～ 8】	28. 10. 29	4期村合同連携事業実施	【札幌地下歩行空間～21】
11. 10. 19	校訓掲げ式挙行	28. 10. 27	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～18/ 8】
12. 10. 9	第21回本の手づくり展開催開催【旭川～ 8】	28. 10. 25	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～27】
12. 10. 20	創立50周年式典挙行	28. 10. 30	第14回本の手づくり展開催開催【デザインギャラリー～7/2】	
13. 8. 9	第22回本の手づくり展開催開催【札幌～ 8】	29. 7. 21	2017年の国連フェア参加	【埼玉～24】
14. 4. 1	北海道おといっしょ若者育工芸高等学校へ校名変更	28. 8. 13	第15回本の手づくり展開催開催	【かどろ2.7～13】
14. 8. 19	女子体育館落成	29. 8. 20	4期村合同連携事業実施	【札幌地下歩行空間～21】
14. 10. 12	第23回本の手づくり展開催開催【札幌～14】	29. 10. 3	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～14】
15. 4. 1	工芸コース 美術コースのコース制選択を導入	29. 10. 10	国際理解教育	【レクサンド高校より留学生と各受入～24】
15. 10. 11	第24回本の手づくり展開催開催【札幌～13】	30. 8. 9	第15回本の手づくり展開催開催【デザインギャラリー～16】	
16. 2. 10	第25回全国高等学校スキー大会 総合優勝	30. 7. 21	2018年の国連フェア参加	【埼玉～25】
16. 8. 29	第1回上川合同庁舎生徒作品展	30. 8. 4	第16回本の手づくり展開催開催	【かどろ2.7～ 6】
16. 10. 24	第25回本の手づくり展開催開催【札幌～24】	30. 10. 10	4期村合同連携事業実施	【札幌地下歩行空間～15】
16. 11. 5	産業教育フェア開催	30. 10. 9	国際理解教育	【レクサンド高校へ生徒と各受入～12】
17. 2. 1	第24回全国高等学校スキー大会 総合優勝 5連続			
17. 6. 27	第2回上川合同庁舎生徒作品展			

北海道教育の基本理念

自立 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

共生 心豊かに、ともに支えあい、ふるさとに誇りを持つ人を育む

【基本目標】

基本目標 1 社会で生きる実践的な力の育成

- 生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進
- 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成

- 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
- 心身の健やかな成長を促す教育の推進

基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

- 魅力ある学校づくりの推進
- 教職員に対する信頼性の向上

基本目標 4 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

- 家庭の教育力の向上への支援の充実
- 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

基本目標 5 北海道らしい生涯学習の実現

- 学んだ成果を生かす生涯学習の推進
- 潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進
- 文化・芸術活動の推進
- 健康づくり・スポーツ活動の推進

上川管内教育推進の重点

I 社会で生きる力

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育の推進
- 3 新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

II 豊かな人間性

- 1 いじめや不登校を解消する取組の充実
- 2 豊かな心や感性を育む教育の推進
- 3 他者と協働する力の育成

III 健やかな体

- 1 体力・運動能力の向上

IV 学びを支える家庭・地域

- 1 家庭の教育力の向上
- 2 地域の教育力の向上

V 学びをつなぐ学校づくり

- 1 教職員に対する信頼性の向上
- 2 魅力ある学校づくりの推進

VI 学びを活かす地域社会

- 1 生涯学習の振興
- 2 地域課題の解決に向けた環境整備

音威子府村教育目標

○たくましい身体と意志を育てよう

闘争精神を受け継ぎ、ねばり強くやり抜く強い意志をもち、通年で健康と体力増進につとめ、明るく豊かに育つにはげむ村民の育成をめざす

○望ましい個性と豊かな人間性を育てよう

自ら学び、自主的、主体的に社会参加を行い、正しい判断のできる心豊かに村民の育成をめざす

○規律を守り勤労を愛する心を育てよう

きまりを守り、他人をいたわる心を育てるとともに、勤労の喜びを見出し、生きがいのある生活をつくりだす村民の育成をめざす

○自然を愛する心を育てよう

天塩川の恩恵に感謝し、森、川にかこまれた自然を愛する心を育て、住みよいまちづくりにはげむ村民の育成をめざす

○文化を高め郷土を愛する心を育てよう

先人の文化的遺産を受け継ぎ、芸術、文化を育み高める心を育て、地域から生まれる生活文化を向上させる村民の育成をめざす

校 訓

HEART
AND
CREATION
創造 自主 規則

学校教育目標

造形体験を重ね、
創造力を育成する

- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める
- 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す
- 自然に親しみ、情操を豊かにする

1 育成を目指す資質・能力

- (1) 美術・工芸を学ぶ者として、基礎的・基本的な知識や技術・技能を身につけさせる。
- (2) 創作活動を通じて豊かな心を育むと共に、作品への理解発見能力、課題解決能力を育む。
- (3) あらゆる教育活動を通じて、豊かな自己表現能力を育てる。
- (4) 将来の目標を叶えるための、確かな学力を身につけさせる。

2 重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着を目指す。
- (2) 確かな技術技能の定着をはかり、生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・習習生活をおして、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己目標に向かい取り組む姿勢を身につけさせる。
- (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

3 教育課程編成の方針

- (1) 工芸科としての特色ある教育課程の編成に努める。
- (2) 専門高校として多様な進路選択に応える教育課程の編成に努める。
- (3) 情操豊かな人格形成を目指し、教科と特別活動等の調和のとれた教育課程編成を目指す。

4 指導上の重点事項

学習指導	(1) 生徒一人ひとりに個別最適化した学習指導を目指し、研修により学習方法や評価方法を工夫し、学習習慣を定着させ、基礎的・基本的な知識や技術・技能を身に付けさせる。 (2) 高大連携や国際理解教育といった地域の教育力や、ICTや図書教育を用いた探究的な学習、そして他者と関わる創作活動を通じて、問題発見・課題解決能力を育成する。 (3) 工芸科としての特色ある教育活動により、キャリア教育の推進を図り、情操に富み、夢や希望にあふれる生徒を育て、21世紀型学力の育成を目指す。
生徒指導	(1) 全教職員の共通理解と実践により、基本的な生活習慣の定着を推進する。 (2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実を図り、生徒の自主性や自律性を育成する。 (3) 教育相談活動を充実し、多面的な生徒理解を深め、問題の早期発見・対応を実現する。
進路指導	(1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて努力する態度を育成する。 (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。 (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。
健康・安全指導	(1) 保健教育活動を充実し、個々の生徒の状況を的確に把握し、生命を大切に主体的に心身を鍛える生徒を育成する。 (2) 校内外の清掃美化や施設の保全を図り、快適な教育環境づくりを推進する。 (3) 全教育活動をおして安全教育を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導する。

平成31年度 学校経営方針

生徒・保護者・村民・教職員がともに夢を語り、感動があふれる学校を創造する

夢を語り感動があふれる学校づくり

- 1 全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをとおした質の高い教育活動を推進する。
- 2 創作活動をととして学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、夢を叶える確かな学力を育成する。
- 3 他を思いやり、共に学び感動があふれる学校生活をとおして、豊かな人間性を育成する。
- 4 生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、社会に開かれた教育課程づくりを推進する。

全道唯一の工芸科として教育活動の充実を図る

- 1 創造力を育成する質の高い美術工芸作品の制作
- 2 学ぶ意欲を高め個性や能力を伸ばす工芸・美術コース
- 3 他を思いやる心を育てる学校教育活動と郷生会活動
- 4 地域の自然や人々、木と触れあうことによる心豊かな人づくり
- 5 一人ひとりが主人公として活躍し自己表現力を育む教育活動
- 6 課題解決能力や社会性を伸長する教育活動

創造力を育成し人間力を高める

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 魅力ある教育活動の推進<ol style="list-style-type: none">(1) 創造力を育成する教育活動の実践(2) 工芸と美術のコース選択による個性の伸長(3) 高大連携や国際交流による教育内容の充実(4) 多様な課題の可能性を確保し、21世紀型能力を育てる教育課程の研究2 個性を伸ばす学習指導<ol style="list-style-type: none">(1) 自己実現に向け、自ら学ぶ意欲を高める学習指導(2) 質の高い表現学習をととした創造力の育成(3) 基礎的・基本的な学力の定着を図る個に応じた指導3 豊かな心を育む生徒指導<ol style="list-style-type: none">(1) 自らを律する態度を育成する生徒指導(2) 教育相談による生活理解の推進(3) 学校生活と郷生生活の両輪による望ましい人間関係を構築する能力の育成(4) 生徒会と郷生会の活動による自主性の育成(5) 特別活動や部活動等による社会性の育成(6) 生命を尊重し健やかな身を育成する健康安全指導4 未来を拓く進路指導<ol style="list-style-type: none">(1) 生徒の能力や適性に応じた進路指導(2) 自己理解や自己実現を達成する力の育成(3) 計画的・系統的なキャリア教育の推進5 学校情報の積極的な発信<ol style="list-style-type: none">(1) Webページ等の充実による情報発信力の向上(2) 各種「たより」等による学校理解の推進(3) 学校案内、ポスター等の充実 | <ol style="list-style-type: none">6 学びの成果を発信する生徒作品の公開<ol style="list-style-type: none">(1) 「村の美術館」として村内生徒作品の公開(2) 「木の手づくり展」の充実発展(3) 村施設や村文化広場で生徒作品の展示7 地域と一体となった教育活動<ol style="list-style-type: none">(1) 「植樹祭」「村興運動会」「文化祭」等への参加(2) 授業、課外活動や学校行事等の教育活動の公開及び地域の教育力の活用(3) 幼小中協力が連携した学びの充実(4) 北海道大学中川研究科との「森林探訪」の実施(5) 村内各詩人会等の地域行事への支援及び参加8 教養育むプロセスとしての教師力向上<ol style="list-style-type: none">(1) 指導と評価を一体化した授業改善(2) 主体的・協力的な学びの実践及び評価の工夫(3) 校内研究会や公開授業による演習能力の向上(4) 校外各種研究会等の参加と情報の還元及び共有(5) 村内教育推進協議会による研修の充実(6) 高大連携をととした大学教員との専門分野研修(7) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団(8) 学校評価、授業評価、学校評議員会を踏まえた課題改善(9) 事故・健康維持、危機管理の高標準に向けた研修9 特色ある教育活動の充実発展<ol style="list-style-type: none">(1) 東海大学との高大連携教育(2) スウェーデンとの国際理解教育(3) 全道唯一の工芸科による「人づくり」 |
|---|--|

教育課程表

1 令和元年度 入学者教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				4	4
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学Ⅰ	3	3				
	数学A	2		2	2		
	数学Ⅱ	4				3	3
理科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術Ⅰ	2	2				
	工芸Ⅰ	2	2				
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2		
	コミュニケーション英語Ⅱ	4				4	4
家庭	家庭基礎	2		2	2		
情報	社会と情報	2	2				
工業	工業技術基礎	2~4	4				
美術	素描	2~6		1	1	1	1
	絵画	2~4			4		
芸術	美術研究○	4					4
工芸	図法・製図○	3	1	2	2		
	木材理論○	1	1				
	木工初作Ⅰ○	3	3				
	木工初作Ⅱ○	6		6	6		
	インテリア史○	1		1	1		
	工芸初作○	4		4			
	課題研究○	6				6	6
	工芸研究○	4				4	
小計			29	29	29	29	29
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

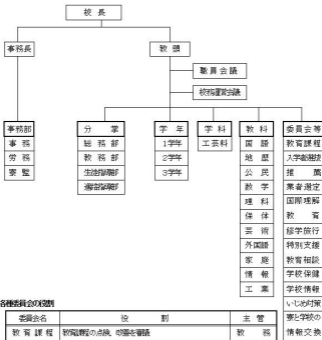
2 令和元年度 学年別教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工業	美術	工業	美術
国語	国語総合	4	2	2	2		
	国語表現	3				4	4
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学I	3	3	2	2		
	数学A	2				3	3
理科	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術I	2	2				
	工芸I	2	2				
英語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2		
	コミュニケーション英語I	4				4	4
家庭	家庭基礎	2		2	2		
情報	社会と情報	2	2				
工業	工業技術基礎		4				
美術	素描	2~6		1	1		1
	絵画	2~4			4		
芸術	美術研究	○ 4					3
工芸	図法・製図	○ 3	1	2	2		
	木材理論	○ 1	1				
	木工制作I	○ 3	3				
	木工制作II	○ 6		6	6		
	インテリア史	○ 1		1	1		
	工芸制作	○ 4		4			
	課題研究	○ 6				6	6
	工芸研究	○ 4				4	
小計			29	29	29	28	28
総合的な探究の時間			0	0	0	1	1
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

組織及び構成

1 組織機構図



2 各種委員会の役割

委員会名	役割	主管
教育課程	教育課程の点検、改善を審議	教務
入学者選抜	入学前選抜における卒業的成や異業連携	教務
推薦	就職・進学に際して推薦要件の確認、選定	進路指導
業者選定	公正・適正な業者見極の選定	事務
国際理解教育	国際理解教育の方針、実施計画、受入対応、諸準備	総務
修学旅行	関係団体及び見学者等の計画、役割分担等	総務
いじめ対策	発達障害や精神障害での対応が必要な生徒への対応検討	生徒指導
学校保健	心身の健康を守り、安全・安心の環境づくりの推進	生徒指導
学校情報	校内情報発信 設備、備品、システムの管理と運用	総務
いじめ対策	学校内における困難児童の相談支援、健康づくりの推進	教頭
学校と教職員との	学校と教職員との生徒情報の交換	生徒指導

3 教職員の構成

校長	教頭	教諭	補教	副教	教員	講師	助教	特別	特別	特別	特別	特別	計
1	1	12	1	1	1	1	1	3	0	1	1	1	26

4 教職員一覧

職名	氏名	担当教科	校務分掌	異動年月日
校長	松田 圭右			H30.4.1
教頭	佐々木 雅治			H31.4.1
教諭	棚橋 栄治	保健 体育	生徒指導部長・1学年付・舎監	H21.4.1
〃	林 一浩	理科・家庭	総務部・3学年付・舎監	H27.4.1
〃	角南 友繁	芸術(美術・工芸)	進路指導部長・2学年副担任・舎監	H31.4.1
〃	大原 一毅	地理・公民	生徒指導部・2学年付・副舎監長	H28.4.1
〃	下川 さつき	芸術(美術・工芸)	生徒指導部・1学年付・舎監長	H27.4.1
〃	久保 穂江	芸術(美術・工芸)	総務部長・3学年副担任・舎監	H29.4.1
〃	森下 環仁	外国語	教務部長・3学年付・舎監	H29.4.1
〃	三谷 佳典	芸術(美術・工芸)	工芸科長・進路指導部・2学年付・舎監	H28.4.1
〃	須藤 由希子	芸術(美術・工芸)	総務部・2学年正担任・舎監	H28.4.1
〃	押見 榮希	芸術(美術・工芸)	教務部・3学年正担任・舎監	H26.4.1
〃	杉浦 誠耶	数学・情報	教務部・1学年副担任・舎監	H31.4.1
〃	近江 達心	外国語	進路指導部・1学年正担任・舎監	H30.4.1
副教諭	薄口 季佳		生徒指導部・1学年付・副舎監長	H25.4.1
実習助手	薄口 将達		総務部・2学年付・同窓会	H27.6.1
A L T	クリスチ・リー			H28.8.22
事務長	高橋 利玄			H31.4.1
事務生	横山 康子			H25.4.1
公務補	西山 亮太			H30.4.1
寮監	永井 満			H23.4.1
寮監	北原 直志			H26.4.1
寮監	佐藤 雅隆			H29.4.1
調理師	執行 伸枝			H18.4.1
寮職員	神野 隆敏			H23.11.1
館管理人	加藤 友幸			H28.4.1
校医	三好 義範			H25.4.1
歯科医	松尾 徹也			H24.9.1

生徒状況

1 生徒出身地別人数（平成31年4月9日現在）

	1年		2年		3年		管内		
	男	女	男	女	男	女	管内名	男	女
札幌市	2	0			2	0	石狩	10	16
北海道	1		1	2		1			
北見市					1				
旭川市				1					
網走市			1						
稚内市					1				
小樽市	1						滝川	1	4
北見市	1					2			
七飯町			1				渡島	1	1
小樽市						1			
苫小牧市				1			樺山		1
札幌市						1			
苫小牧市							樺根		2
札幌市						1			
苫小牧市							空知	1	2
札幌市						1			
新十郎町						1	留萌		1
旭川市	1	3		0	1	0			
旭川市				1		2	上川	8	28
旭川市		4	1			1			
旭川市	1	1		1	1	1			
旭川市			1			1			
旭川市		2		1		1			
旭川市	1								
旭川市		2		1					
旭川市		1		1					
旭川市		1							
旭川市	1					2			
旭川市									
旭川市					1				
旭川市						1	十勝	2	4
旭川市		1							
旭川市	1						釧路		0
旭川市		1				1			
旭川市	1		1	1			道外	11	12
旭川市			1	1					
旭川市	1								
旭川市		2	1	1	1				
旭川市	1	2	1		1				
旭川市			1			1			
旭川市		1				1			
旭川市	1					1			
合計	9	31	14	22	12	28	116		

2 生徒数（平成31年4月9日現在）

	1年	2年	3年	合計	備考
男子	9	14	12	35	専生 35
女子	31	22	28	81	専生 81
合計	40	36	40	116	専生 116

進路状況

(平成20年度卒業生以降)

年 度		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
進 学	四年制大学	10	8	11	17	14	14	11	11	11	10	13
	短期大学	0	2	2	2	2	0	1	0	1	3	3
	各種学校	10	17	10	9	12	14	14	11	13	14	11
	その他	0	2	2	2	4	0	2	0	0	0	1
	未定							1	3	2	2	2
	(小計)	(20)	(29)	(25)	(30)	(32)	(28)	(29)	(25)	(27)	(29)	(30)
就 職	木材・工芸関係	1	2	2	3	0	1	2	2	2	2	3
	販売・製造等	1	2	4	2	3	0	0	1	3	0	1
	公務員(含自衛隊)	1	0	1	1	2	2	3	3	3	0	5
	サービス・飲食関係	1	0	2	0	0	3	1	1	1	0	0
	福祉施設関係	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0
	運輸業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他	1	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0
	未定	5	0	0	2	1	2	1	2	1	3	0
	(小計)	(11)	(6)	(11)	(10)	(7)	(10)	(8)	(11)	(12)	(6)	(9)
合 計	31	35	36	40	39	38	37	36	39	35	39	

卒業生総数

男子1,083名 女子638名 合計1,721名 (平成31年3月1日現在)

各分掌の経営計画

<総務部>

1 活動目標

校務の円滑な運営を行うとともに、学校業務のスリム・健全化を推進する。

2 今年度の重点課題

- (1) 業務の円滑な遂行、及び校務のスリム化
 - ・ 総務業務の円滑かつ早期からの実施
 - ・ 各種委員会及び分掌業務等の整理と推進
 - ・ 校務運営システム活用へ向けた校務の推進
- (2) 実態に即した、親切的な生徒募集の展開
 - ・ 「生徒の育ち」、「本校ならではの学び」を紹介
 - ・ Webページ、ブログ、パンフレット等での本校の学びを発信
 - ・ 木の手づくり展等における活動展示の促進

3 課題解決の方策

- (1) 各種校務の整理
 - ・ 校内研修会の実施などによる校内の問題点の共有化
 - ・ 各種業務の整理
 - ・ 校内業務についての内規の見直し
- (2) 取り組みの検証作業
 - ・ 校内研修会による生徒募集の在り方提示と方針の共有化
 - ・ 学校評議員等からの助言をもとにした改善策の立案と推進
 - ・ 機動性を重視した取り組み

4 分掌構成・業務分担・各種委員会

委員会名	部長	林	須藤	澤口(博)	主管
校務運営会議	◎				総務部
教育課程委員会					教務部
国際理解教育委員会	●	◎			総務部
修学旅行委員会		◎			総務部
入学者選抜委員会			○		教務部
業者選定委員会	○				事務長(校務運営会議)
学校情報委員会	◎			●	総務部

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から退出する委員 ●：分掌以外で割り当たった委員

5 業務一覧表

業務	担当者	主な業務	他分掌等との関わり
庶務	久保 久保 久保・須藤 久保・林 金員 久保・林 久保・林 久保 久保・林	校務整理・改善 課室整理・運営 入学・卒業式、研修式 同窓会記念事業 職員室机かけの設置 全庁立案 会議の企画・取りまとめ	校務運営会議 校務運営会議
生徒募集	金員 金員 久保・須藤・澤口(博)	ガイダンス資料、実績 HP、ブログ、パンフレット	工芸科との連携 工芸科との連携 学校情報委員会
特色ある取組	久保・須藤 久保・林 村・久保	デザインスクール 選手・派遣・費入 貴族寮等、見学旅行	工芸科との連携 国際理解教育委 修学旅行委
赤外・PTA	久保・須藤 久保・須藤・澤口(博) 金員 久保・林・澤口(博)	PTA(学校前会七) 体育文化祭等 地区別懇談会 発送文書	生徒指導委との連携
校内情報管理	村・澤口(博) 村・澤口(博)	LAM・トナー・備品・消耗品管理 コンピュータ室備品	学校情報委員会

校内管理	学校代表メール管理 校内安全点検 展示物等管理 各種備品管理	欠保・料 東西・溝口(特) 東西・溝口(特)	安全点検 ボイスターの校内掲示など カメラなどの備品管理	数課
------	---	------------------------------	------------------------------------	----

6 年間計画

月	共通の会議・行事等	業 務	
前 期	4 年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 『生徒事業指針』決定	計開結算式、入寮式、入学式、PTA・作文研究会 見学旅行地団式、生徒事業年報計画・実施要項 新課程実施布、年報行事計画確定 生徒事業に係るアンケート作成、配布 見学旅行、見学旅行委員会(第1回) 全校集会(GW前) 英語文書とりまとの(地区別文書)	
	5 校務運営会議、職員会議 第1回入学普通授業委員会 教育課程委員会	全校集会(GW明け)、生徒事業に係るアンケート集計 生徒事業史料準備、地区別懇談会準備 学校要覧・教育計画発行	
	6 校務運営会議、職員会議 学校教育指図(1次) 教育課程委員会 進路訓練(第1回)	普治懇話、地区別懇談会、木の手作りり業(旭川) 生徒事業パンフレット発行、学校関係者とりまとの開催 中学校訪問準備・打ち合わせ	
	7 校務運営会議、職員会議 学校前	村民運動会、学校関係者懇談会、全校集会(夏休み前) 英語文書とりまとの、一日体験入学実施要項 学校案内送付、夏の園遊学フェア(埼玉県)	
	8 校務運営会議、職員会議	学校案内送付準備、木の手作りり業(札幌) 全校集会(夏休み明け)、中学校訪問(教育委員会) 上川北部4ヶ町村立高校生徒事業事業	
	9 校務運営会議、職員会議 中層互省会議(分掌打ち) 中層互省会議 全校集会	高大連携教育(9/21付6)、一日体験入学準備 地区別懇談会実施要項、中層互省会議取りまとの 計開結算式、英語文書とりまとの(地区別文書)	
	後 期	10 校務運営会議、職員会議 一日体験入学 進路訓練(第2回)	国際理解教育生徒派遣、後継結算式、地区別懇談会準備 一日体験入学準備
		11 学校教育指図(2次) 校務運営会議、職員会議	地区別懇談会 国際理解教育準備委員会
		12 校務運営会議、職員会議	全校集会(冬休み前)、英語文書とりまとの 卒業式実施要項
1 校務運営会議、職員会議		全校集会(冬休み明け)、年報行事計画作成準備	
2 校務運営会議、職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学普通授業(授業)		卒業式案内配発(3学年) 卒業式準備、卒業式予行 PTA・作文委員会	
3 校務運営会議、職員会議 入学普通授業(一般) 入学普通授業(二次事業) 年度末反省会議	卒業證書授与式、高大連携教育、新年度年報行事計画 入学式実施要項、修了式、英語文書とりまとの(1・2年)		

7 達成目標(評価の視点)

- ・ 教職員で問題を共有し、校務の改善を進めたか
短・中・長期に問題を分類し、取り組む
- ・ 実態に即した募集活動を行うことが出来たか
1. 2倍以上確保

<教務部>

1 活動目標

学校教育目標をもとに生徒の特性と実態に適合した教育課程・指導計画及び評価を確立し、校務の円滑な運営とともに実施する。

2 今年度の重点課題

- (1) 生徒の基礎学力向上と学習習慣の改善
- (2) 生徒の思考力・判断力・表現力を育成する教育課程の作成
- (3) 生徒のキャリア充実に資するためのキャリア教育
- (4) 教務作業の円滑な遂行、及び校務の効率化

3 課題解決の方策

- (1) 学びの基礎診断を活用し、国数英を中心に生徒が自主的に学習するための環境整備をするとともに、授業においても適切に課題を配信していく。また、自ら学ぶ意欲を喚起する教育の実践を目指す。
- (2) ① ICTの活用、教科横断的な学びや探究的な授業単元の開発を実施し、生徒の言語能力を伸ばし、「思考力・判断力・表現力」を育成するための指導方法及び評価方法の工夫研究を行う。
② 校内研修や研究授業を実施し、多角的に検証し改善する
③ 教育課程においても、「思考力・判断力・表現力」を育成できるように、改善していく。
- (3) 進路指導部との連携を図り、本校の進路学習行事において、キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力がどれくらい育成されているかを測り、改善につなげる。
- (4) ① 教務支援システム完成年度として、問題なく職務遂行をする。
② 各種委員会及び他分掌との連携・協働
③ 総合的な探究を課題研究で代替したことに付随する諸課題の解決を目指す。

4 分掌構成・業務分担・各種委員会

委員会名	教務主担当者			主 管
	森下	押見	杉浦	
教育課程委員会	◎		●	教務部
入学者選抜委員会	◎	○	●	教務部
推薦委員会		●	○	進路指導部
業者選定委員会		○		事務
留学旅行委員会	○			総務部
教育相談委員会		○		生徒指導部
学校情報委員会	○		●	総務部
いじめ対策委員会	○			教務

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から選出する委員 ●：その他から選出される

5 業務一覧表

	業 務	担当者	主な業務	他分掌等との関わり
総務 庶務	教育課程	森下	作成指示、点検 転出入、証明書発行等 規程の運用、総務整備	※工芸科との連携 ○教育課程委(森下) 工芸科との連携 校務運営会議との連携 ○推薦委、業者選定委、 いじめ対策委、学校評 議員会(主任)
	施設管理	森下・他		
	公文書	教務・森下		
	教務規程・各種管理	森下		
	教育課程表(A・B表)	森下		
	学校設定科目・科目の申請	森下		
	教育計画・学校要覧	森下		
	遠征科目、3・4制	森下		
	請求書(規注、発給)	森下		
	教育課程表(C・D表)	森下		
	教務支援システム管理	森下・押見		
	図書・図書館管理	杉浦・森下		
学習指導 庶務	学習指導	森下・杉浦	併部、学力向上対策総括	※学びの基礎診断(国数英) ※学校関連行事(工芸科) ※進路行事(進路指導部)
	行事計画	森下・押見		
	シラバス作成	森下・押見		
	学力等実態調査・学力向上対策 (授業に関するアンケート)	森下・杉浦 森下・押見		

	LHR (キャリア) 教科書・副教材 考査・成績処理	表下・評見 杉浦・表下 杉浦・表下	(キャリア計画を元に)	
時間割	日課管理 時間割作成 授業実習・時数統計	表下・評見 押見・杉浦 押見・杉浦	基本時間割 通時間割・時数統計	
研究	研究 資料収集 教育実習	表下・評見 表下・評見 表下・評見	校内外研習・初任者研 習会資料収集・発表	
1学期終	進路入試・一発入試・二次募集	表下・評見・杉浦		○入学者選抜部(表下)

6 年間計画

月	共通の会議・行事等	業務内容
前 期	4 年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 →教育課程委員会(方針) 学びの基礎診断アセスメント	入学者選抜結果状況報告 基本時間割作成 LHR計画 遠征教育計画 特別活動・総合的な学習の時間計画 新入生オリエンテーション ガイダンス 学力実態調査 CD表、学校目標提出 シラバス作成 教育実習準備 学びの基礎診断オリエンテーション
	5 校務運営会議、職員会議 教育実習 第1回入学者選抜委員会 教育課程委員会	教育課程審議 昨年度の入選の反省と改善
	6 校務運営会議、職員会議 学校教育指導(1次) 前期中間考査 教育課程委員会	コース選択ガイダンス 進路提出・一覧表提出 成績会議資料作成・成績会議 授業改善研習会実施(校内研習)
	7 校務運営会議、職員会議	教科書採択
	8 校務運営会議、職員会議	コース選択希望調査 成績不振者・欠席超過者指導
	9 校務運営会議、職員会議 前期末考査 中間反省会議(分学打合せ) 中間反省会議	進路提出、一覧表提出、成績会議資料作成、成績会議 成績不振者・欠席超過者指導
	10 校務運営会議、職員会議	入学者選抜費用作成
	11 学校教育指導(2次) 校務運営会議、職員会議 後期中間考査	(教育実習) 第2回入学者選抜委員会 進路提出 一覧表提出 成績会議資料作成 コース選択希望確定
	12 校務運営会議、職員会議	成績会議 欠席超過者報告 入学者選抜業務 準教科書・副教材採択
期	1 校務運営会議、職員会議 学年末考査(3学年)	入学者選抜業務 進路提出 一覧表提出(3学年)
	2 校務運営会議、職員会議 年度末反省会議 学校評価委員会 入学者選抜(推薦) 学年末考査(1・2学年)	成績会議資料作成、卒業認定会議 入学者選抜業務 進路提出、一覧表提出 成績会議資料作成 A・B表提出
	3 校務運営会議、職員会議 進路認定会議 入学者選抜(一般) 入学者選抜(二次募集)	学力実態調査(学年末考査後) 講義簿、指導要録等点検(3年) 会議資料作成 成績不振者・欠席超過者指導 学年末時数統計処理 指導要録点検(1・2年) 入学者選抜業務 入学者選抜報告

7 達成目標(評価の視点と具体的な目標)

- 学びの基礎診断での生徒の学習状況と学力の向上
4分の3以上の生徒がGTZ値を向上させる
- 思考力・判断力・表現力を育成するための校内研修と個人研修を実施
レポートをまとめて冊子にして共有する
- 進路行事の点検・見直しを、基礎的・汎用的能力育成の観点で図る
進路行事を必要に応じ改善し実施する
- 教務的業務の円滑な遂行、及び校務の効率化
アンケート・反省会議での意見喚上げ

<生徒指導部>

1 活動目標

- (1) 生徒の安全と基本的生活習慣の定着を図り、健康な学校生活を育成する。
- (2) 主体的で自律的な生徒の活動、寮生活を支援する。

2 今年度の重点課題

- (1) 安全で健全な生活の育成、基本的生活習慣の定着。
 - ・規範意識と向上心、社会人の基礎力としての社会性の育成。
 - ・生命を大切にし、主体的に心身を鍛える生徒の育成。
 - ・清掃美化や施設の保全に意欲的に取り組める生徒の育成。
- (2) 多面的な生徒理解を深める。
 - ・カウンセリング機能の充実と対話の深化。
 - ・校外での生活、学習、心身の健康状態の理解と、教職員間の情報共有。
- (3) 主体的、自律的な生徒活動の保証。
 - ・主体性、責任、自律を目指した生徒会活動、寮生会活動の育成。
 - ・計画と達成像の明確化。

3 課題解決の方策

- (1) 各規則、指導方針、目指す姿を明示し、生徒間に理解を進める。
 - ・毎日生活に大切な規範と個人の希望を区別して意識させる。
- (2) 業務整理に取り組み、生徒対話、家庭との連携を深める。
 - ・さまざまな場面での生徒観察、情報、指導経過等を発信し共有する。
- (3) 逐次分掌部会をもち情報共有と意見交換、改善案の検討を進める。
 - ・諸活動それぞれの活動計画を把握し、内容の相互理解を進める。

4 分掌構成・業務分担・各種委員会

【分掌構成・業務分担】

業務	役 職	担 当 者
生徒指導	部 長	榎橋栄治
	部 員	大原一毅・下川さつき・澤口李佳
	専 監	永井 満・北原貴志・佐藤雅隆
寮 務	寄宿舎指導員	執行神枝
	寮 監 員	神野隆敏
	階 管 理 人	加藤友幸・加藤みゆき
	舎 監 長	下川さつき
	副 舎 監 長	澤口李佳・大原一毅

【各種委員会】

委員会名	担 当 者				主 管
	榎橋	下川	大原	澤口 (李)	
入学者選抜委員会			○		総務部
国際理解教育委員会		○			総務部
修学旅行委員会		○			総務部
学校情報委員会			○		総務部
特別支援教育相談委員会	○			○	生徒指導部
教育保健委員会	○			○	生徒指導部
推薦委員会	○				進路指導部
いじめ対策委員会	○			○	教頭
業者選定委員会	○				事務部

5 業務一覧表

係	業務 内 容	担 当 者	他分掌等との関わり
総務 庶務	年鑑計画と個別計画の作成	榎橋	総務 生指協、警察等 数務、学年
	校外関係機関との連携	榎橋	
	生徒指導心得の作成	榎橋	
	オリエンテーションに関する事項 他	榎橋	
生活指導	校内外における基本的生活習慣の育成	榎橋 他	村越権会
	生徒心得の指導と検討	榎橋	

	非行事故の未然防止指導 道徳指導の計画 各種講座の企画 ・薬物乱用防止・交通安全・防犯 ・ネットモラルおよび携帯電話利用マナー	備後 備後 大原	
健康安全	教育相談週間（春1年生、秋1・2年生、3年生は進路関連で学年） 避難訓練	大原	医療・警察他 通信関係
保健環境	学校保健安全指導の計画作成 校内外の清掃と清掃計画の指導	澤口(李) 澤口(李)	
特別支援	村教育推進協議会特別支援部会への参加	澤口(李)	村教育委員会
生徒会指導	生徒会活動、執行部指導 部活動の企画指導指導	大原・備後 大原・備後	数務・総務
	保健委員会； 保健委員会の指導	澤口(李)	
	生活委員会； 生活委員会の指導	備後	執行部・学級
	図書委員会； 図書委員会の指導	下川	
寮務	施設管理	永井・北原	村教育委員会
	生活指導全般	永井・北原・佐藤 執行	指導部・学年情報交換会 等
	寮清掃	神野・	
	食事	加藤	
	寮生会指導	下川・澤口(李)・ 大原	生徒指導
	倉庫	全教員	

6 生徒指導年間計画

	月	共通の会議・行事等	生徒・特別支援	生徒会指導	保健環境	寮務
前期	4	年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 3年生学年旅行	オリエンテーション 作業中の心得	付随式 部活動確定 あいさつ運動	定期健康診断 始業前大掃除 学年旅行前健康相談(3年)	入式式 オリエンテーション
	5	校務運営会議・職員会議 1半年審治報告	スクールカウンセラー来校 (以後毎月) アセス実施 1年生教育相談 ｲﾝﾌﾙｲﾝｽﾞ講話 校外巡視	生徒総会 高体連対行会 あいさつ運動	定期健康診断 書留習字習字健康相談(1年)	春季休業 あいさつ運動 新入生歓迎会 避難訓練
	6	校務運営会議・職員会議 木のすくくり展(旭川) 村民運動会	制靴(夏冬)移行期間 避難訓練 校外巡視	学校祭 生徒総会	春の衛生運動	2年生実生レク 2年生実生レク 匠号ハスティア
	7	校務運営会議・職員会議	夏服調整 (9月まで) 交通安全、防犯 ・薬物乱用防止 講話 作業中の心得	学校祭	休業前大掃除	匠号ハスティア 夏季休業
	8	校務運営会議・職員会議	校外巡視	あいさつ運動		夏季休業(帰省)
後期	9	校務運営会議・職員会議 中野反省会、脚步記念会 2年生デザインスクール	制靴(夏冬)移行期間 校外巡視	役員選挙	デザインスクール 村健康相談(3年) 強歩健康相談	1年生実生レク 避難訓練
	10	校務運営会議・職員会議 一日休校入学	冬服調整 (～5月) 避難訓練 作業中の心得 1・2年生教育相談 校外巡視	即位式	赤ちゃんとのおふろ あいさつ学習 (3年)	秋季休業 習字生歓迎式 匠号ハスティア
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議	校外巡視			養生総会 おといねっぷ祝 寮 寮生会役員選挙
	12	校務運営会議・職員会議	作業中の心得	体育祭	休業前大掃除	冬季休業

				工務棟大講義	
1	校務運営会議・副員会議	校外巡視 休業中の心構	生体会議 リロカン部全国 大会壮行会		冬休休業（帰省） 3年生を送る会
2	校務運営会議・副員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学普通科（推薦）	スクールカウン セラー事務局 校外巡視		入道前大講義 卒業式前大講義 住居者講話（2年）	家庭学習 （2年生進者）
3	校務運営会議・副員会議 入学普通科（一般） 入学普通科（二次募集）	休業中の心構	卒業生教室研修 次年度学校閉鎖 準備	年度末大講義	学年末休業 （帰省）

7 学校保健安全計画

保健目標	学校の保健 関連行事	保健管理		保健教育	学校安全 安全管理・教育
		心身・生活	環境		
4 健康診断を受け、健康の状態を把握しよう	・定期健康診断 ・始業前大検除 ・見学期前健康相談（3年） ・見学期前 ・見学期前	・保健相談 ・健康診断の実施と実施 ・健康相談 ・健康診断の計画と実施と事後措置 ・疾病発生者の健康相談と生活指導	・新薬情報配布 ・日常点検の履行（1年間） ・大検除の実施状況の点検	・健康診断の受け方 ・保健室の利用の仕方	・学校関係の安全点検 ・防災体制の確立 ・登校指導 ・J.R乗車指導
5 疾病予防と早期発見に努めよう	・定期健康診断 ・始業前健康相談（1年） ・スクールカウンセラー ・インターネット講座	・健康相談の実施 ・健康診断の実施と事後措置 ・疾病発生者の健康相談と生活指導		・望ましい生活リズム ・心身の健康	・学校関係の安全点検 ・交通安全指導 ・登校指導 ・校外巡視
6 生活習慣を確立しよう	・歯の衛生週間 ・富田研究 ・地区お祭り会 ・スクールカウンセラー ・J.R乗車指導	・健康相談の実施 ・健康相談 ・歯みがき指導 ・食中毒・感染症予防 ・熱中症予防 ・登校の健康診断		・歯肉炎の予防 ・手洗い、うがいの励行 ・食中毒の予防	・学校関係の安全点検 ・登校指導 ・校外巡視
7 自主的な健康管理に努めよう	・学校祭 ・休業前大検除 ・工事棟大検除 ・運動部、部防止 ・交通安全、防災教室 ・スクールカウンセラー	・健康相談の実施 ・健康相談 ・夏休みの健康生活指導と健康管理 ・行動要領会研修 ・夏休みの健康調査 ・治療相談	・大検除の実施状況の点検 ・清潔用具の点検 ・古紙回収	・夏期における心身の健康 ・熱中症予防	・学校関係の安全点検 ・学校祭の安全対策 ・食中毒の防止 ・長期休業前の生活指導 ・J.R乗車指導 ・校外巡視
8 応急手当の方法を身につけよう	・デザインスクール前健康相談（2年） ・デザインスクール ・強歩記録会前健康相談 ・強歩記録会 ・スクールカウンセラー	・健康相談の実施 ・健康相談 ・疾病発生状況の把握 ・手洗い、うがいの励行		・障害の防止 ・応急手当の方法と実施	・学校関係の安全点検 ・登校指導 ・強歩記録会の安全対策 ・校外巡視
10 夏の健康について考えよう	・スクールカウンセラー ・赤ちゃんとのお楽しみ健康学習（3年）	・健康相談の実施 ・健康相談		・暑いよい生活	・学校関係の安全点検 ・長期休業前の生活指導 ・J.R乗車指導 ・校外巡視
11 その健康管理をしっかりとしよう	・スクールカウンセラー	・健康相談の実施 ・健康相談 ・かぜやインフルエンザの予防		・インフルエンザの予防 ・手洗い、うがいの励行	・学校関係の安全点検 ・その交通安全指導 ・校外巡視
12 寒さに耐えての体力増強をはかる	・体育祭 ・休業前大検除 ・工事棟大検除	・健康相談の実施 ・健康相談 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握	・大検除の実施状況の点検 ・清潔用具の点検	・インフルエンザの予防 ・冬休みの生活	・学校関係の安全点検 ・長期休業前の生活指導

			<ul style="list-style-type: none"> ・室内の換気及び手洗い ・うがいの励行 ・冬休みの健康意識指導 		<ul style="list-style-type: none"> ・J R健康指導
1	健康を意識した生活をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の実施 ・健康相談 ・冬休みの健康調査 ・油断防止 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザの予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校環境の安全点検 ・校外巡回
2	心身の健康生活を実現しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・入道前大掃除 ・卒業式前大掃除 ・スクールカウンセラー ・世教員講話(2年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の実施 ・健康相談 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握 ・室内の換気及び手洗い ・うがいの励行 	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除の実施状況の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の体力と栄養 ・学校環境の安全点検 ・校外巡回
3	1年間の生活を振り返り反省しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末大掃除 ・工夫種大掃除 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の実施 ・一年間の健康生活の反省 ・春休みの健康管理・生活指導 ・新年度の計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室の整備 ・学校保健衛生学選修等師のまとめと次年度への課題整理 ・大掃除の実施状況の点検 ・清掃用具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の健康生活の反省 ・学校環境の安全点検 ・J R健康指導

8 達成目標（評価の視点）

(1) 生活指導・特別支援

- ・基本的生活習慣の改善ができたか。
- ・教職員間における情報と指導意識の共有ができたか。
- ・生徒個々に目を向けた指導ができたか。
- ・講話が有意義なものであったか。

(2) 生徒会、寮生会指導

- ・各行事、事業の充実に向けた指導ができたか。
- ・生徒会、寮生会の活動が主体的なものであったか。
- ・予算の執行が的確であったか。

(3) 保健・環境

- ・生徒が主体的に健康管理や安全確保に努める姿勢を育成できたか。
- ・生徒が主体的に清掃に取り組み、環境衛生の意識を向上することができたか。

<進路指導部>

1 活動目標

- (1) キャリア教育の推進による進路実現の充実
- (2) 早期からの計画的な進路指導
- (3) 資格取得の推進

2 今年度の重点課題

- (1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて自発的に努力する態度を育成する。
- (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。
- (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。

3 課題解決の方策

- (1) キャリア教育を踏まえた、教職員全体での3年間に渡る進路活動の確立
 - ・キャリア発達にかかわる諸能力・基礎的・汎用的能力との関係を明確化した3年間の計画を作成する。
 - ・教務部・各学年担任との連携により、LHR・高大連携の相互関係を明確化する。
 - ・教員へ積極的に進路情報を提供する。
 - ・外部組織・講師との連携を行う。
- (2) 進路のしよりの改訂と進路指導家運営の見直し
 - ・進路のしよりを活動実施時のワークシート・レポート・カルテとして発行する。
 - ・進路室利用方法の明示と生徒への利用を喚起する。
 - ・計画的な模擬面接練習、生徒の状況に応じた面談・インターンシップを実施する。
- (3) 模擬試験・検定・進学講習の効果的な運営
 - ・検定・模擬試験の年間予定を保護者に送付するとともに生徒にも配付し計画的な受験を促す。
 - ・学級担任と教科担任の連携により学習および資格取得への意識の高揚を図る。
 - ・模擬試験前後に講習において指導を行い、進路実現に向けた学習活動の定着を図る。

4 分掌構成・業務担当・各種委員会

委員会名	担当者	主管
推薦委員会	角南	進路指導部
業者選定委員会	三谷	事務長
修学旅行委員会	角南	総務部
学校情報委員会	近江	総務部

5 業務一覧表

係	業務内容	担当
庶務	進路指導計画、各種送付文書、進路状況統計、資料作成、三者面談計画	角南・近江・三谷
進学	学校連絡・入学願書点検及び指導、模擬面接、進学講習	角南・近江・三谷
就職	職場連絡・履歴書点検及び指導、模擬面接、一般常識問題付家	角南・近江・三谷
渉外	進路開拓（学校、職場訪問等）・進路来客対応	角南・三谷
研修	職業講話・インターンシップ	角南・三谷
環境整備	資料整備（入学案内、求人票等）・相談室整備・掲示物	角南・三谷
奨学金	・北海道高等学校奨学金（在学中）に関する業務 ・日本学生支援機構（進学後）に関する業務 ・その他の奨学金に関する業務	近江 近江 近江・三谷

65 年間計画

月	第1学年	第2学年	第3学年
日	○自分の思いや意見を適切に伝え、正しい伝え方から見える友人関係を築く力をつける。 ○自分の能力・適性を理解し、それを伸ばす努力をする。 ○進路や職業に関する様々な価値観を収集・探求し、実践に向けて適切な計画を立てる力をつける。 ○働くこと・学ぶことの意義を理解させる。	○自分の役割や他者の個性を理解し、協働して物事を進める力をつける。 ○自分の興味・関心や適性を理解し、自分から進んで行動する態度を育てる。 ○職業についての総合的・現実的な理解のもとで、自分の将来像を設計し、進路計画を立てる力をつける。 ○将来設計に基づいて、手取り足取り学ぶ学習や活動を理解し、行動させる。	○リーダー・フォロワーシップを鍛錬して相手の能力を引き出し、チームワークを高める力や態度を育てる。 ○社会との関わり方を考えながら、自己の発展的な能力・適性を伸ばすよう努力する態度を育てる。 ○将来設計、進路希望の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組み姿勢を身につけさせる。 ○生きがい・やりがいがあり自己を活かせる生き方や進路を積極的に考えさせる。
4	▲新入生オリエンテーション ★進路適性検査(スタディサプリ) ▼公務員試験 ★の田くしレクリン	●進路希望調査(夏季休業中) ▲進路講話 ▼公務員試験	●進路希望調査(夏季休業中) ★進路の實力再確認 ▲進路講話 ▼公務員試験 ●日本学生支援機構申込(第1回) ▲進路ガイダンス(卒業理由書・履歴書の書き方) ▲面接の仕方
5	▲進路選択 ▲地区選択会 ▼公務員試験 ▲英語検定 ▼漢字検定 ▲コース制ガイダンス ★進路適性ガイダンス(4月実施進路性検査をもとにした自己理解)	▲進路選択 ▲地区選択会 ▼公務員試験 ▲英語検定 ▼漢字検定 ▲インターンシップ	▲進路選択 ▲地区選択会 ●進路希望調査 ▼公務員試験 ▲英語検定 ▼漢字検定 ▲就職書類の書き方 ▲インターンシップ
7	▼公務員試験	▼公務員試験 ▲職業別ガイダンス	求人受付開始 ▼公務員試験 ▲舞台マーク検定 ●三進生訓(夏季休業中)
8	▲進路選択(希望者) ▼漢字検定	▼漢字検定	▲自衛官講習 ●進路希望調査(夏季休業中) ▲模擬面接指導(通知) ▲進学説明会 ●就職研究会 ●大学への入試開始 ▼漢字検定
9	▲職業ガイダンス ●進路希望調査(学期別休業中) ★自分を覚悟する(適性検査) ▲職業体験講座(ライセンスアカデミー)	▲●デザインスクール ▲職業ガイダンス ●進路希望調査(学期別休業中) ▲職業体験講座(ライセンスアカデミー)	▲模擬面接指導(通知) ▼舞台マーク検定 ●特別実習 ●就職研究会 ●就職応募・採用開始(併願不可) ▲自衛官・一般官製補給士採用試験
10	▲進路選択(希望者)	▲進路選択(希望者)	●専門学校推薦入試開始 ●模擬面接指導(通知) ▼舞台マーク検定 ●専門学校の推薦入試開始 ●大学入学共通テスト出願
11	▲地区選択会	▲地区選択会	●特別就職応募・採用開始(併願可) ●模擬面接指導(通知) ●国公立、私立大学公募推薦入試開始 ●日本学生支援機構申込(第2回) ●模擬面接指導(通知) ▼大学入学共通テスト
12	▼舞台全国マーク検定 ▲後期インターンシップ	▼舞台全国マーク検定 ▲後期インターンシップ ★3回分履修テスト	●模擬面接指導(通知) ▼大学入学共通テスト
1	★卒業生の声を聞く会 ▼英語検定 ▼漢字検定 ▲後期インターンシップ(北大中別研究科)	★卒業生の声を聞く会 ▼英語検定 ▼漢字検定 ▲後期インターンシップ(北大中別研究科)	★卒業生の声を聞く会(1、2年へ派遣) ▼英語検定 ▼漢字検定 ●模擬面接指導(通知) ▲大学入学共通テスト ●私立大学一般入試開始 ★社会人マナー講座
2			●国立大学一般入試前期日程開始
3	▼舞台全国マーク検定 ★進路を前に(作文を含む)	▼舞台全国マーク検定 ▲進路講話(3年生に向けて) ★進路を前に(作文を含む)	●卒業式 ●国立大学一般入試中期・後期日程開始

●：行事等 ★：LHRでの指導 ▲：その他 ▼：検定・模試

7 達成目標(評価の視点)

- (1) キャリア教育の推進により進路実現が充実したか。
- (2) 早期からの計画的な進路指導ができたか。
- (3) 資格取得が推進されたか。

学年・学級経営計画

第1学年 学級経営案 担任：折江 達心 副担任：杉 清 延 耶

学期目標：前学期同様、明るく活発に学び、友達・クラス、協力的な力を発揮することができよう。

1. 学校生活・寮生活の中で、規律ある生活をおくり、他者と協調する姿勢を育む。
2. 他者との関わりを大切にし、互いに思いやり、支え合う心を育む。
3. 自らの将来を見据え、学校生活での目標を設定し、目標に向かって努力を継続する力を育む。

学年目標

1. 学習指導：自ら学ぶ姿勢を示し、積極的に学習する習慣を形成する。
2. 生活指導：基本的な生活習慣を確立し、けじめある学校生活を営む。
3. 進路指導：自己理解を深め、将来の目標を意図した進路活動を行う。
4. 進路・安全指導：安全に対する認識を深め、自己管理能力を形成する。

前期

指導の重点：本校の特色を知り、学校生活における基本的な規則を身につけさせる。

4月

- 本校の特色を理解するとともに、高校生活での目標意識を持たせる。
- 高校生活、寮生活の規律の理解及び適応の促進を図る。

5月

- 個別面談をおし、生徒理解に努める。
- 基本的な生活習慣の確立を図る。

6月

- 宿泊研修をおし、自己理解を深め、他者を尊重する集団意識を養う。
- 森林研修をおし、北瀬川の木の性質や自然の大切さを理解させる。
- 中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。

7月

- 学校祭をおし仲間への大切さを理解させると共に、協調性、主体性を養う。
- 長期休暇の過ごし方指導をする。

8月

- 生活規律、学習態度の見直しと徹底に努める。身だしなみ指導。
- 個別面談をおし、生徒理解に努める。

9月

- 前期期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。
- 進路記録会をおし安全と健康への意識向上を図る。
- 前期の反省、評価を行い、後期の目標と見直しをもたせる。

後期

指導の重点：次学年に向けて目標を持たせ、進路意識を高める。

10月

- 学習相談をおし、個々の目標への意識作りを行う。

11月

- 進路等の自己管理能力の育成を図る。
- 進路指導を行い、意識の明確を図る。
- 後期中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。

12月

- 体育祭をおし、団結することの意義を理解し、クラスの進路感を高める。
- 長期休暇の過ごし方指導をする。

1月

- 個別面談をおし生徒理解に努める。
- 卒業制作発表、3年生を送る会の活動をおし、上級学年になることへの意識作りを行う。

2月

- 卒業考査への取り組み指導及び事後指導を行う。
- 学習相談をおし、個々の目標に向けた具体的な取り組みの指導を行う。

3月

- 自分の進路を理解させ、目標と実現のための見直しを持たせる。
- 1年年度の反省、評価を行い、2年年度の計画を立てさせる。

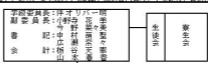
- ・入学式、入学式
- ・高校進
- ・高大連携教育
- ・宿泊研修
- ・森林研修
- ・前期中間考査
- ・村西運動会
- ・学校祭
- ・全校集会
- ・木の手作りくり展
- ・高文連
- ・前期期末考査
- ・進路記録会
- ・前期総演式
- ・後期招来式
- ・後期中間考査
- ・全校集会
- ・おといわっぷ祝祭
- ・体育祭
- ・卒業制作発表
- ・3年生を送る会
- ・卒業式
- ・修了式

達成目標

1. 自ら学ぶ姿勢と学習を継続する習慣を身につけることができたか。
2. 学校生活、寮生活における規律を守り、他者と協調、協力的な力をつけることができたか。
3. 基本的な生活習慣・学習習慣を定着させることができたか。
4. 自己の進路について理解し、進路に対する意図を持たせることができたか。
5. 学校生活や寮生活をおし、安全に対する認識を深め自己管理能力を育めたか。

評価視点

前期学級組織



生活委員			評議員			図書委員			進路管理委員			学校祭実行委員		
庄野	山	乃生	上坂	田	藤	櫻	田	丸	中野	丸	花	加藤	藤	夢
山	山	生	坂	田	藤	櫻	田	丸	野	丸	花	藤	藤	夢

学習係			体育係			掲示係			庶務係			号令係		
庄野	山	乃生	上坂	田	藤	櫻	田	丸	中野	丸	花	加藤	藤	夢
山	山	生	坂	田	藤	櫻	田	丸	野	丸	花	藤	藤	夢

第2学年 学級経営案

担任：須藤 由希子 副担任：角南 友繁

学期目標：思いがけずの目標を自ら設定し、一歩一歩達成を目指す。	
学級経営	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を持ち、その達成に向けて自ら考え行動し、努力し続ける力を育む。 2. 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係性を作る。 3. 規律ある生活を送るために、自己管理する力を育む。
学年目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習指導：目的かつ継続的な学習習慣を形成する。 2. 生徒指導：向上心を持ち、生活習慣の質の向上を目指して主体的に行動する。 3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標に向けた取り組みを自ら行う。 4. 健康・安全指導：自己管理力の養成と、他者に対する思いの心を育成する。
前期	<p>前期の重点：中学2年生としての自覚を持ち、自己を見つめ、粘り強固して行動する力を育成する。</p> <p>4月 ○学校・科のルールを再確認し、中学2年生として自覚・実践させる。</p> <p>5月 ○コース制の趣旨を理解し自分の選択した科目を主体的に取り組ませる。</p> <p>6月 ○全体・個別指導を通して生活理解に努める。</p> <p>7月 ○学習態度の意欲を高める。</p> <p>8月 ○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。</p> <p>9月 ○自己の進捗や関心に基づいて進路について具体的に考えさせる。</p> <p>10月 ○学校祭をとおして協働性を高め、集団のために主体的に行動させる。</p> <p>11月 ○進路相談の場として、進路に向けた活用の方針を指導する。</p> <p>12月 ○生活規律、学習態度の再確認と意欲に努める。</p> <p>1月 ○全体・個別指導を通して生活理解に努める。</p> <p>2月 ○前期期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。</p> <p>3月 ○デザインスクールを通して美術・工芸の奥義を深め、意欲を喚起する。</p> <p>4月 ○デザインスクールを通して学校の人間関係を深める。</p>
後期	<p>後期の重点：進路について考え、目標を明確にし、一層の努力をする。</p> <p>10月 ○前期の反省・評価を行い、後期への目標を持たせる。</p> <p>11月 ○国家理解教育を通してコミュニケーション能力を伸長する。</p> <p>12月 ○健康面における自己管理力の養成を図る。</p> <p>1月 ○進路指導を行い、意欲の向上を図る。</p> <p>2月 ○学期中間考査への取り組み指導を行う。</p> <p>3月 ○長期休暇の過ごし方と、進路に向けた活用の仕方等を指導する。</p> <p>4月 ○体育祭を通し、団結することの意義を理解し、クラスの連携を高める。</p> <p>5月 ○夏学期の計画を通し、取り組み方を育成する。</p> <p>6月 ○卒業制作発表を通し、総合2年生としての意識作りを行う。</p> <p>7月 ○卒業考査への取り組み指導及び事後指導を行う。</p> <p>8月 ○進路個別相談を通し、個々の目標を明確にし、学習意欲を喚起する。</p> <p>9月 ○1年間の反省・評価を行い、次年度への目標を持たせる。</p> <p>10月 ○卒業制作や学習記録について考えさせ、新年意を迎える意識を形成する。</p> <p>11月 ○仲間と協力し、夏学期に向けた準備を進め、協働性と取り組み力を育成する。</p>
達成目標 評価視点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を設定し、学習・制作に主体的かつ継続的に取り組むよう支援できたか。 2. 規律を愛護し、自律した生活を送らせることができたか。 3. 自己の進捗についての理解を深し、進路に対する意欲と取り組みを高められたか。 4. 他者との関わりの中で互いを思いやり高め合う力と自己管理能力をもつていけることができたか。

学級組織

学級委員長：	坂内 希	担任補助員：	真矢 那花
副委員長：	小島 亜	担任補助員：	花衣 かの子
書記：	藪石 三	担任補助員：	あさひ 楓
会計：	浅井 三	担任補助員：	三浦 瑞

生徒会	学生会
-----	-----

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員	学級活動実行委員
金井 愛子 中谷 泉	西山 和心 西村 瑛	西川 美桜 濱 彩音	佐藤 悠太郎 鈴木 華乃	伊藤 晋之介 佐藤 謙

学芸係	体育係	食事係	図書係	母会係
吉黒 聖 長谷川 千冬 澤 高仁 白我 川伊 小 藤川 草 高尾 仲 山	佐藤 光 瀬川 晴己	杉野 蘭 野井 聡 馬場 健 菅 原 美丹	藤岡 優花 岡本 結菜	片山 葉月 坂井 楓奈

第3学年 学級経営 担任： 押 尾 菜 奈 副担任： 久 保 亜 紀 子

<p>学習目標：自ら目標を設定し、その実現のために計画的・継続的な努力をする。</p>	
<p>学級経営</p>	<p>1. 規律ある生活を送るために、自己管理する力の育成。 2. 目標を持ち、その実現に向けて自ら行動し努力し続ける力の育成。 3. 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係性を作る。</p>
<p>学年目標</p>	<p>1. 学習指導：計画性を持ち、主体的・継続的な学習習慣を確立する。 2. 生徒指導：向上心を持ち、自律する態度と他を思いやる協調性を養う。 3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標実現のために必要な行動ができる力を養う。 4. 健康・安全指導：より良く充実した生活を送ろうとする意欲と自己管理能力を高める。</p>
<p>前期</p>	<p>指導の重点：進路意識を高め、自己実現に向けて努力する。</p> <p>4月 ○新上級学年としての自覚を持たせる。 ○進路実現を目指す計画と行動を、主体的に取り組ませる。 ○個別面談を通して生徒理解を深め、自己理解を深めさせる。</p> <p>5月 ○全体・個別指導を通して生徒理解を深め、進路意識の高揚を図る。 ○前期中間考査への取り組み方を指導する。</p> <p>6月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○進路に向けた指導を行う。</p> <p>7月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○長期休暇の過ごし方を指導する。 ○三者面談を通して進路希望の決定を促す。</p> <p>8月 ○就職試験に向けた指導を行う。 ○進学に向けた指導を行う。</p> <p>9月 ○前期末考査への取り組み方を指導する。 ○就職試験に向けた指導を行う。 ○進学に向けた指導を行う。</p>
<p>後期</p>	<p>指導の重点：進路実現を達成する。</p> <p>10月 ○個別進路指導を通してコミュニケーション能力を伸長する。 ○面接指導を行う。(個別)</p> <p>11月 ○後期中間考査への取り組み方を指導する。 ○面接指導を行う。(個別) ○進路決定後の心構えを指導する。</p> <p>12月 ○卒業制作発表及び、3年間の学びのまとめ活動を行わせる。 ○進路先決定者への指導を行う。(個別)</p> <p>1月 ○3年間の学習の成果をまとめさせ、卒業後の人生設計を行わせる。 ○学年末考査への取り組み方を指導する。 ○進路学習期間中の心構えについて指導する。</p> <p>2月 ○卒業式に向けた指導を行う。</p> <p>3月 ○卒業式後の生活、社会人としての心構えについて指導する。</p>
<p>達成目標 評価視点</p>	<p>1. 計画性をもって学習に取り組むとともに、主体的・継続的に学習に取り組むことができたか。 2. 規律を守るとともに、他者と協調して互いに気遣い合う雰囲気を作ろうとしたか。 3. 自己理解を深め、自ら目標を持ち、計画的に進路活動を進められたか。 4. 生活の質向上のため、自己管理を習慣し、安全かつ健康な生活を送ろうとしたか。</p>

前期学級組織



生活委員	保健委員	図書委員	進路指導委員	学級家庭学習委員
黒崎 たくみ 岡本 隆	米三 田 田 美 穂 太	相澤 内 秋 成 小 康	三三 三 三 由 利 三 三 三	三三 三 三 由 利 三 三 三

学習係	体育係	食事係	掲示係	庶務係	号令係
杉井 志保 竹原 清太郎 野川 清生 石川 三咲 加安 藤田 佐々木 暁	帆月 次朗 金丸 丸 葵 酒 寄 風 樹	岩崎 中 朝 岡田 田 谷 田 聖 輝	相澤 大 千 藤 野 和 弥 藤 野 聖 輝	熊谷 隆 密 藤 野 密 密 本久 渡 密	由子 真由 藤 野 真由 藤 野 真由 藤 野 真由

学科（工芸科）経営計画

1 目標

- (1) 美術・工芸の学習体験をとおして、造形体験を豊かにし、造形的な表現と鑑賞、課題解決の能力を高め、文化の発展に寄与する態度と能力を養う。
- (2) 北海道の木材資源の工芸的活用を図り、地域・社会の振興に寄与する。

2 重点課題

- (1) 生徒一人ひとりの個性・想像力を大切にする造形教育の実践を推進する。
- (2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法の工夫により、個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 生徒個々の達成度・達成感を的確に捉え、適切な指導を行う。
- (4) 生徒個々の達成状況を段階的に評価・把握した上で、的確に次の目標を設定する。
- (5) 安全教育を徹底する。
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進をする。
- (7) 教育課程の精選と検討の推進とする。

3 課題解決の方策

- (1) ゲーム・ティーチングによるきめ細かい指導の実践
- (2) 生徒の習得段階に応じた教材の研究
- (3) 生徒の制作進度に対応できる個別・グループ指導の実践
- (4) 個人の達成目標を明確にした学習方法・評価の研究
- (5) 生徒への安全指導の徹底と継続（工芸標使用法、機械操作法、止血法、服装頭髪指導等）
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進に向けた研修
- (7) 教育課程の研修と内容の精選

4 達成目標

- (1) 安全教育を徹底できたか
- (2) 教育課程の検討を推進できたか
- (3) 教材の内容と進度を適正にできたか
- (4) 各種連携を適切に行えたか

5 業務分担

係	業務内容	担当
庶務	経営計画、木の手づくり展、渉外	〇三谷、久保、澤口（特）
消耗品・設備・材料管理	予算、消耗品購入および管理、設備の点検・整備・補充、材料購入計画及び管理指導	〇三谷、澤口（特）
高大連携・学校間連携	高大連携・学校間連携に関わる授業等の計画・連絡調整	〇三谷、押見、角南
安全教育	安全に関する指導	〇角南、下川、澤口（特）
研修	校内研修、校外研修	〇三谷、久保 角南、澤口（特）
制作支援・デッサン	制作支援・デッサンの計画と指導	〇三谷、久保
各種委員会		担当
教育課程委員会	三谷、押見	
入学者選抜委員会	下川	
国際理解教育委員会	三谷	
修学旅行委員会	角南	
学校情報委員会	澤口（特）	

6 年間計画

日	内容
4	教育計画、1年用手工具購入、1年用美術工用具購入、材料購入計画、新入生オリエンテーション *高文連携 2学年「木工制作1」おもちゃの作り方（東海大学教官による連携授業）
5	*高大連携 1学年「木工制作1」おもちゃの作り方（東海大学教官による連携授業）5/16(水) *高大連携 3学年「課題研究」制作の進め方、ポートフォリオ、プレゼンテーションについて（東海大学教官による連携授業）5/9(木)
6	木の手づくり展（旭川）6/7(金)～6/10(月)旭川デザインギャラリー *森井啓祐（1学年）
7	工業博大連携計画、高部文登（佐賀）
8	木の手づくり展（札幌）8/3(土)～5(月)かどる2・7 高文連携北支部美術展（美深）8/21(水)～23(金)

9	※高大連携大学訪問 2学年 『デザインズグループ』(東海大学校舎での連携授業) ※ インテリア史『名作椅子について』を含む 9/11(水)～9/12(木)
10	工業博大探検計画、1日体験入学、卒業制作発表準備委員会立ち上げ
11	※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」ポートフォリオ (東海大学教員による連携授業) 11/11(月)
	※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」デザイン制作とプレゼンテーションの方法 (東海大学教員による連携授業) 11/28(木)
12	工業博大探検計画、卒業生作品展示
1	卒業生作品展示・発送
2	卒業制作発表(全学年発表) 1/22(水)
3	卒業制作発表
4	卒業生工業博大探検計画、高大連携事業打ち合わせ

7 概要

(1) 木材理論・インテリア史

- ・ 目 標 生活における工芸の意義を理解させ環境について考える能力を高める
- ・ 内 容 木 材 理 論…生活における工芸の役割を考え、素材、用法を学ぶ。
インテリア史…工芸の歴史をとらえて作品が持つ様々な要素を考え、
制作の方法を学ぶ。

(2) 工業技術基礎

- ・ 目 標 工芸に使用される材料の諸性質及び、審美的な特質について理解させ、
制作に必要な材料・工具・機械などを正しく使用し手工具を用いた適切な
方法で制作する能力を養う。
- ・ 内 容 工業技術基礎…木材の加工をとおして性質、特性を理解し活用を学ぶ。

(3) 木工制作Ⅰ

- ・ 目 標 工芸の造形的な創造活動をとらえて表現と鑑賞の能力を一層高めると
ともに、基礎的・基本的な知識と技術を習得し、工芸の在り方について
理解を深め、探求課題を解決していく中で様々な資質・能力を高める。
- ・ 内 容 木工制作Ⅰ…付加価値の高い技術性と審美的要素を備えた制作題材
を設定し、加工・仕上げの技術を習得させるとともに
創造と鑑賞の能力を養う。
木工制作Ⅱ…生活に関わりのある家具などに関する基礎的な知識と
制作技術を習得させ、実際の生産に活用する能力を養
う。
課 題 研 究…生徒の能力に応じて、生徒自ら美術・工芸において制
作題材を設定し、主体性のある構想を練り制作、探求
する。

(4) 図法・製図

- ・ 目 標 製図に必要な基礎的な図法を理解させ、形態と図面の関係を明確にし、
図法・製図の能力を高めるとともに、構想の計画と、表示の能力を養う。
- ・ 内 容 図法・製図…図法の種類と製図の基礎の習得と製図の実習をとお
して作図と読図を学ぶ。

(5) 選択科目(工芸)

- ・ 目 標 工芸制作・工芸研究
基礎基本の確立から、主体的に意匠加工を行う力を養う。
・ 内 容 素描、クロッキー等の基礎的表現技法をとおし形態や
構造の把握、空間の感覚及び表現する力を養う。
工 芸 制 作…課題制作をとおして製品デザインの表現や考え方を学
び自ら工夫して制作する力を養う。
工 芸 研 究…工芸学習のまとめとし習得した技術を制作課題に生か
し、自ら表現することをおして総合的な視野を持
つ造形力を養い、鑑賞力と豊かな心を育成する。

(6) 選択科目(美術)

- ・ 目 標 素描・絵画研究
美術分野にわたる基礎技術の習得と、それらを活用発展させ、総合的
に表現する力を養う。
・ 内 容 素描、クロッキー等の基礎的表現技法をとおし空間の
感覚および表現する力を養う。
絵 画…美術における各領域の基礎技法を制作をとおして学び
表現力を高めるとともに、作品制作における構想の力
を養う。
美 術 研 究…油彩画の創造的な創造活動をとらえて、生涯にわたり美
術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育て、
感性と美意識を磨き個性豊かな美術の能力を高める。

8. 学習系統について

(1) 3年間の学習系統について（令和元年度）

		1 学 年	2 学 年	3 学 年	
基礎演習	応用と制作	工業技術基礎 4単位 ・工具の手入れ、使い方 ※美術Ⅰ 2単位 ※工芸Ⅰ 2単位 ・ペーパーナイフ、舞臺			
		図法・製図 3単位			
		木工制作Ⅰ 3単位 ・木製おもちゃ、カトラリーのデザイン ・制作、彫刻刀の使い方	木工制作Ⅱ 6単位 ・大型機材の使用法 ・ツール、チェスト		
		工芸	素 描 1単位 工芸制作 4単位 ・卒業ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する	工芸研究 4単位 ・1年間の制作をコンセプトをたて設計し作品を制作する	
		美術	素 描 1単位 絵 画 4単位	素 描 1単位 美術研究 3単位	
		共通		課題研究 6単位 ・1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する	
		木材理論 1単位	インテリア史1単位		
		基礎演習	応用と制作	工業技術基礎 4単位 ・工具の手入れ、使い方 ※美術Ⅰ 3単位	
図法・製図 3単位					
木工制作Ⅰ 4単位 ・木製おもちゃ、カトラリーのデザイン ・制作、彫刻刀の使い方	木工制作Ⅱ 5単位 ・大型機材の使用法 ・ツール、チェスト				
工芸	素 描 1単位 工芸制作 4単位 ・卒業ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する			素描 1単位 工芸研究 4単位 ・1年間の制作をコンセプトをたて設計し作品を制作する	
美術	素 描 1単位 絵 画 4単位			素 描 1単位 美術研究 4単位	
共通				課題研究 6単位 ・1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する	
	インテリア史1単位				
基礎演習	理論と鑑賞				

※美術Ⅰは必修修科目扱い、工芸Ⅰは必修扱い
課題研究時数の変遷 3単位（以前）→6単位→4単位（昨年度）→6単位（次年度以降）

3年間の学習系統について（令和2年度以降）

		1 学 年	2 学 年	3 学 年	
基礎演習	応用と制作	工業技術基礎 4単位 ・工具の手入れ、使い方 ※美術Ⅰ 3単位			
		図法・製図 3単位			
		木工制作Ⅰ 4単位 ・木製おもちゃ、カトラリーのデザイン ・制作、彫刻刀の使い方	木工制作Ⅱ 5単位 ・大型機材の使用法 ・ツール、チェスト		
		工芸	素 描 1単位 工芸制作 4単位 ・卒業ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する	素描 1単位 工芸研究 4単位 ・1年間の制作をコンセプトをたて設計し作品を制作する	
		美術	素 描 1単位 絵 画 4単位	素 描 1単位 美術研究 4単位	
		共通		課題研究 6単位 ・1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する	
			インテリア史1単位		
		基礎演習	理論と鑑賞		

※美術Ⅰは必修修科目

総合的な学習の時間 全体計画

1 総合的な学習の時間の目標

複面的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方考えることができるようにする。

2 本校の目標

全道唯一の村立工芸高校の生徒として自覚を持ち、地域との交流を深めるとともに、美術工芸を学ぶ意欲を高め、理解を深める。

3 内容

(1) 育てたい資質や能力及び態度

- ① 情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的・実証的に分析する力
- ② 先人の歴史や本校の伝統などを受け継ぎ、美術工芸の作品制作に生かすことができる技能
- ③ 異校種交流や村民との触れ合いによる他者の考えを受け入れ、尊重し理解しようとする態度

(2) 年間指導計画

学期	月	活動内容	高校学年・時数				※1	内 容	
			1	2	3	2/3			
前期	4	道祭の流れ再確認	3 学年 に 対 し て 研 究 課 題 を 設 け て 実 施 す	1	1	1	①	道祭活動の見直しや必要なことを再確認する	
	5	3年生道祭ガイダンス 面接の仕方		2	1	1	①	講話を通して履歴書の書き方や礼儀作法を理解する	
				2	1	1	①	出願書類について基本と準備の流れを理解する	
				村民運動会	6	1	1	②	村民との触れ合いによる異校種交流をする
	7	交通安全活動 舞台演出と表現		3	1	1	1	②	交通安全の啓蒙を通して交通安全意識の大切さを理解する
				6	1	1	1	②	本校の伝統を受け継ぐ態度とその体現
後期	10	赤ちゃん触れ合い体験	3	1	1	1	③	生命に対する畏敬の念の育成を図る	
	11	国際理解教育報告会	1	1	1	③・④	異文化理解と工芸制作への応用について学ぶ		
	1	社会人マナー講話 1日厳選挙権	1	1	1	1	①	卒業生に知っておくべき手紙の書き方や冠婚葬祭についてのマナーについて理解する	
			1	1	1	1	①	有権者としての必要な資質を高める	
合 計			24	24	24				

※1 項目とは、③ 育てたい資質や能力及び態度 の該当項目である。

4 活動内容の教科等の履修及び他機関との連携について

学期	月	活動内容	関連する教科及び連携機関 等
前期	4	道祭の流れ再確認	道祭指導部
	5	3年生道祭ガイダンス 面接の仕方	道祭指導部
			道祭指導部
		村民運動会	教科・科目(保健体育)、管絃子府村
	7	交通安全活動 舞台演出と表現	管絃子府村、結見センター、管絃子府小中学校
			特設活動(学校別)
後期	10	赤ちゃん触れ合い体験	教科・科目(保健体育)、管絃子府立保健センター)
	11	国際理解教育報告会	教科・科目(美術・工芸・英語)
	1	社会人マナー講話 1日厳選挙権	道祭指導部
			教科・科目(地歴・公民)

特別活動 全体計画

1 特別活動の目標

望ましい人間関係をを通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

2 内容

(1) ホームルーム活動

① 目標

ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてのホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

② 内容及び年間指導計画

略（LHR活動年間指導計画を参照）

(2) 生徒会活動

① 目標

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

② 内容及び年間指導計画

学期	月	活動内容	活動場所	時数	項目 ※1
前期	4	円形式	体育館	1	(1)(2)(3)
		同席型の使用方法	体育館	-	(1)(3)
	5	生徒会への就職票作成	体育館	-	(1)(3)
		生徒会選	体育館	1	(1)(3)(4)
	6	新入生歓迎会（学年）	体育館	-	(1)(4)
		学校生活説明会	体育館	-	(1)(3)(4)
後期	12	生徒会選（学年別）	体育館	1	(1)(3)(4)
		生徒会役員選挙準備	体育館	-	(1)(3)
	1	生徒会役員選挙	体育館	1	(1)(3)
-	-	留学生との親睦会	体育館	-	(2)(4)
		体育祭準備会	体育館	-	(1)(3)(4)
		おたけご会（運動会準備会※2）	体育館	-	(1)(3)(4)
		新入生歓迎会（学年）	体育館	-	(1)(4)
-	-	3年生を送る会※2	体育館	-	(1)(4)
-	-	新入生歓迎会※2	教室	-	(2)

※1「項目」は「深みと広がり」
習得の段階に示されている
生徒会活動の内容である。
(1)生徒会の計画や運営
(2)異年齢集団による交流
(3)生徒の活動に対する関心
(4)対行行事への協力
(5)ボランティア活動などの
社会参加

※2 養育会の活動

(3) 学行事

① 目標

学行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や達成感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

② 内容及び年間指導計画

学期	月	行事名	時数・学年		項目※1	他の教育活動との関連	
			1	2			
前期	4	新入生歓迎式	1	1	(1)	体育（事前活動）	
		入学式	1	1	(1)	体育（事前活動）	
		入学式	1	1	(1)	体育（事前活動）	
		入学式	1	1	(3)	体育（事前活動）	
	5	新入生歓迎会	1	1	(4)	体育（事前・事後活動）	
		入学式	1	1	(1)	体育（事前活動）	
		入学式	1	1	(1)	体育（事前活動）	
		入学式	1	1	(4)	体育（事前活動）	
	7	6	入学式	1	1	(4)	体育・社会（事前・工業）
			入学式	1	1	(5)	体育（事前活動）
7		入学式	1	1	(3)	体育（事前活動）	
		入学式・運動会準備会	1	1	(3)	体育・社会（保健・体育）	
		入学式	6	6	(2)	特別活動（生徒会活動）	
		入学式	12	12	(2)	特別活動（生徒会活動）	
8	入学式	2	2	(5)	特別活動（生徒会活動）		
	入学式	3	3	(5)	特別活動（生徒会活動）		
10	入学式	1	1	(1)	体育（事前活動）		
	入学式	1	1	(1)	体育（事前活動）		

学期	月	行 事 名	1年	2年	3年	項目別1	他の教育活動との関連
後期	10	入学式	1	1	1	(1)	H2(事前決定)
		大運動会	2	2	2	(5)	H2(事前決定)
		文化祭	1	1	1	(3)	H2(事前決定)
	12	大運動会	3	3	3	(5)	H2(事前決定)
		文化祭	1	1	1	(1)	H2(事前決定)
	1	文化祭	1	1	1	(1)	H2(事前決定)
		大運動会	1	1	1	(5)	H2(事前決定)
	2	卒業式・入学式	1	1	1	(1)	H2(事前決定)
		文化祭	1	1	1	(1)	H2(事前決定)
		大運動会	3	3	3	(1)	H2(事前決定)
	3	大運動会	1	1	1	(5)	H2(事前決定)
		文化祭	2	2	2	(5)	H2(事前決定)
		入学式	1	1	1	(1)	H2(事前決定)

※「1」項目とは、次のとおり学習指導要領に示されている内容である。

- (1)徳行的行事 (2)文化的行事 (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・審美的行事
(5)別当生業・奉行的行事

3 特別活動の5つの観点

「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学外行事」を通して育てたい能力や態度を明確にするべく、5つ観点を設定している。

- (A) 望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成
(B) 個人的な資質の育成
(C) 社会的な資質の育成
(D) 自主的、実践的な態度の育成
(E) 人間としての在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力の育成

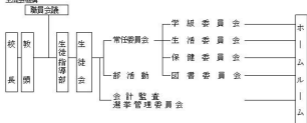
4 特別活動の項目

「項目」は、次のとおり学習指導要領に示されているホームルーム活動の内容である。

- (1) ホームルームや学校の生活づくり
ア：ホームルームや学校における生活上の問題の解決
イ：ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動
ウ：学校における多様な集団の生活の向上
- (2) 進志と成長及び健康安全
ア：青年期の悩みや課題とその解決
イ：自己及び他者の衛生の理解と尊重
ウ：社会生活における役割の自覚と自己責任
エ：男女相互の理解と協力
オ：コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
カ：ボランティア活動の意義の理解と参画
キ：国際理解と国際交流
ク：心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立
ケ：生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立
- (3) 学業と進路
ア：学ぶことと働くことの意義の理解
イ：主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用
ウ：教科・科目の適切な選択
エ：進路選択の理解と進路情報の活用
オ：望ましい進路実現・職業観の確立
カ：主体的な進路の選択決定と将来設計

5 組織編成

(1) 生徒会組織



(2) 生徒会役員

- 会長：加藤 瑠璃
- 副会長：三川 彩鈴
- 書記：杉井 志希
- 会計監査：吉川 朝都
- 生活委員：藤戸 志希
- 保健委員：片岡 曜
- 図書委員：井山 聖
- 学級委員：曾月 響

6 課外活動

	アソビ	カクシ	ドミン	工芸	美術	軽音楽	家政	文芸	計
男	3	1	3	19	8	1	0	0	35
女	0	3	3	21	27	17	6	4	81
計	3	4	6	40	35	18	6	4	116

LHR活動年間指導計画

第1学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：近江 達心 副担任：杉浦 麗那

学年	月	活動内容	学習時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
学 日 標	南無れ石を穿つ。 (明るく真面目で誠にも優しく礼儀正しいクラス。継続的な努力を続けることができるクラス)									
	LHR 日 標									
		1 互いを認め合える人間関係を育成し、学級の運営態を高める。								
		2 自らの特性を知り、将来を見つめ、自己を高める力を身につける。								
前 期	4	担任所信表明	2	担任講話、活気があり自立した生活を送る意欲	(1)ア					
		オリエンテーション	1	担任講話、クラスの目標：学校生活における規範	(2)オ	○	○	○		
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎				
		対面式事前指導	1	自己紹介、自己への理解・学校生活への意欲	(2)イ	○			○	○
			道徳適性検査	1	自己理解を深める姿勢	(3)エ				○
	5	宿泊研修事前指導	3	日程・内容の確認、積極的に参加する意欲	(1)イ					○
				区分相談、集団のために行動する姿勢	(2)ウ	○		○		
		道徳適性ガイダンス	1	自己理解を深め規範を意欲する姿勢	(3)エ					○
			学校祭準備・指導	1	概要説明、役割決め、主体的に参加する姿勢	(1)ウ				○
	6	学校祭係等動	2	よりよい学校祭にするために協調する力	(1)ウ	○		○	○	
7	学校祭準備・指導	9	コミュニケーション能力・発想力・行動力	(1)ウ	○		○	○		
8	夏季休業明けLHR	1	原状・傾斜点検、規範意識	(2)ク			○			
9	前期の反省	1	講話、自己を見つめ心おす力	(1)イ		○		◎	○	
10	後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎				○	
11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性・危機管理能力	(2)ク	○				○	
12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性と団結力	(2)オ	◎		○			
	道徳検査	1	自己理解を深める姿勢	(3)エ					○	
1	冬季休業明けLHR	1	原状・傾斜点検、規範意識	(2)ク			○			
	卒業生の声を聞く	2		(3)エ			○			
2	道徳規程について知る	1	道徳のしおりを使用	(3)カ			○		◎	
	卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)オ			○			
3	道徳を前に(作文を含む)	1	講話、道徳に向けての覚悟・計画性	(3)カ					○	

※ 5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

第2学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任： 須藤 由香子 副担任： 角 南 友 繁

学 年 目 標	夢に向かっての目標を自ら設定し、一步一步確実に達成する。									
LHR 目 標	他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える人間関係を構築する。 将来を想い、自ら考え、積極的に行動する態度を養う。									
学 期	月	活 動 内 容	学習 時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前 期	4	担任所信表明、心構え	1	担任講話、活気ある自立した生活を送る意欲	(1)ア		○	○		
		前期企画選出	1	企画選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		スケジュール表の活用	1	見通しを持つ、計画性	(3)ア		○		◎	
	5	学校制度事項審議	1	学校制度事項審議、見通しを持った企画力	(1)ウ	○		○	◎	
		学校関係連絡	2	より良い学校にするために協調する力	(1)ウ	○		○	○	
		学校制度準備	9	コミュニケーション能力、発想法、行動力	(1)ウ	○		○	○	
	7	夏季休業明けLHR	1	服装・傾斜点検、規範意識	(2)ク		○	○		
		2/1のなかへ事前指導	1	目的確認、段取り力、自ら学び取る姿勢	(3)ア	○				◎
		進級を前に	1	講話、3年次に向けての強い覚悟、計画性	(3)カ					◎
後 期	10	進級企画選出	1	企画選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ		◎		○	
		2/1のなかへ反省	2	学びを今後に活かす力	(3)ア	○				◎
		体育祭準備審議	1	体育祭審議、協調性、危機管理能力	(2)ク	○			○	
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性、協調性と根拠力	(2)オ	◎		○		
		適性検査	1	自己理解を深める姿勢	(3)エ			○		
		冬季休業明けLHR	1	服装・傾斜点検、規範意識	(2)ク		○	○		
1 期	卒業生の声を聞く	2	進路決定者の講話、進路意識と計画性	(3)カ			○	○		
	見学旅行事前準備	1	行程確認、段取り力、協調性	(2)イウ	○			○		
	卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)ウカ			○	○		
	求人票の見方	1	進路のしおりを使用	(3)イウ		○		○	◎	
3	進級を前に	1	講話、3年次に向けての強い覚悟、計画性	(3)カ					◎	
	1年間の反省	1	自己を見つめなおす力、向上心	(1)イ		○		◎	○	
	見学旅行事前指導	2	目的確認、段取り力、協調性	(2)イウ	○					

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

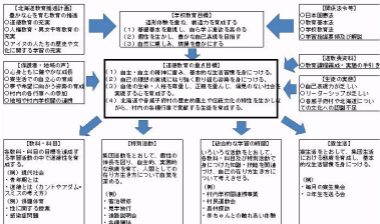
第3学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：柳見葉 副担任：久保亜紀子

学年	目標	1. 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合い成長し合える関係を作る。		2. 夢や目標の実現に向けて、自ら必要な準備と行動をし、向上心を持ち努力し続ける力を育成する。						
		LHR 目標								
LHR 目標		1. 他者を認め、受け入れ、より良い人間関係を築けるコミュニケーション能力を高める。								
LHR 目標		互いの夢や目標を尊重し合い、励まし・助け合える関係を構築する。								
学期	月	活動内容	予定 時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前期	4	所信表明、心構え	1	担任講話、計画性や見通しを持って行動する力	(1)ア		○	○		
		前期合典選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		見学期行事前指導	4	集団行動における自律心、協調性	(2)イウ	○			○	
	5	見学期行事の振り廻り	3	グループ発表、プレゼンテーション能力	(3)イ	○			○	
		学校祭準備	1	学校祭準備会議、自主性と企画力	(1)ウ	○				◎
中期	6	前期中間考査に向けて	1	考査前事前指導	(3)イ		◎		○	
		学校祭係活動	2	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
	7	学校祭準備	9	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
	8	夏季休業明けLHR	1	服装・髪型等検査、規範意識	(2)ウ		○	○		
前期未考査に向けて		1	考査前事前指導	(3)イ		◎		○		
後期	10	後期合典選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
	11	体育祭実演審議	1	体育祭審議、協調性、発問管理能力	(2)ク	○			○	
		内定・就職の進路について	1	講話、自立・計画性	(3)カ		○			○
12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性・同級力	(2)オ	○		○			
末期	1	冬季休業明けLHR	1	服装・髪型等検査、規範意識	(2)ク		○	○		
		家庭学習前指導	1	説明、自己管理能力	(3)ウ			○		○
	2	卒業式準備	1	説明、社会規範意識	(2)クカ			○	○	

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

道徳教育 全体計画

1 道徳教育の重点目標（模式図）



●道徳教育推進教師 森下 康仁

2 実施内容及び年間計画

学期	実施月	実施内容	実施学年
前期	4	新入生オリエンテーション	1
		村祭式	全
		道徳の流れ再確認	3
		慰問と謝状について	2
	5	道徳講話	2
		道徳研究	1
		農村祭	2
	6	道徳実践ガイダンス	1
		森林探訪	1
		コース選択ガイダンス	1
	7	インターネット講話	全
交通安全啓発活動		全	
村民運動会		全	
交通安全・荷物乱用防止講話		全	
学校祭準備		全	
9	デザインスクール	2	
10	赤ちゃん触れ合い体験	2	
後期	11	国語理解教育研究会	全
	1	中学生を送る会	全
	2	道徳講話	2
-	-	卒業式予行	全
-	-	実生集会（臨時）	全
-	-	1日全学年講話（臨時）	3

高大連携教育 計画

※ これは協定書印刷に基づき、東海大学との高大連携教育計画をまとめたものである。

1 重点事項

- (1) 大学教育との連携をとおして、生徒の学習意欲・進路意識の向上を推進する。
- (2) 教育課程に位置付け、内容を充実させる。
- (3) 専門性を生かした連携により、将来、専門分野で活躍する人材の育成を推進する。
- (4) 高大連携の達成状況を段階的に評価、把握した上で、次の目標の設定をする。
- (5) 連携を教職員の研修と位置付け、質の向上を推進する。
- (6) 連携の成果を生かし、地域への貢献を推進する。
- (7) 大学との連携内容について企画する。

2 課題解決の方策

- (1) 大学の専門教育を受講することにより、学習への興味・意欲を高める。
- (2) 大学での体験をとおして進路意識を高め具体化を推進する。
- (3) 実施ごとに生徒や教員による評価を行い改善を進める。
- (4) 成果をまとめ、情報の共有化と校内研修を推進する。
- (5) 連携で得た成果を開放講座などの地域交流に活かす。
- (6) 教育課程との関連を踏まえ、大学と連携についての検討を行う。

3 実施分担

係	業務内容	担当
意 務	実施計画、渉外	教員 三谷
高大連携	高大連携に関わる授業等の計画・進捗確認	三谷、押見、須藤
研 修	高大連携に関わる研修とまとめ	三谷、久保、梅帆、澤口(待)

4 年間計画(30年度 ※が高大連携)

月	内 容
4	教育計画 1年用手工図購入、教材購入計画
5	※高大連携 3学年「課題駆動型」卒業作品の制作(東海大学教員による連携授業) 5/9(木) ※高大連携 1学年「木工制作Ⅰ」おもちゃの制作(東海大学教員による計機授業) 5/16(木)
6	木の手づくり展(徳川) 6/8(土)～6/10(月) 森林図説(1学年)
7	工業棟大講堂計画、高紙文楽(位置)
8	木の手づくり展(札幌) 8/3(土)～8/5(月)、高文連道北支部新研修
9	※高大連携大学訪問 2学年「デザインスクール」 9日日程(東海大学教員による計機授業) ※高大連携 2学年「インテリア史」名作椅子の見学 9/11(水)～9/12(木)
10	工業棟大講堂計画 1日体験入学、高文連全道大会 ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」卒業制作の導入(東海大学教員による連携授業)
11	村文化祭 ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」ポートフォリオ(東海大学教員による計機授業) 11/13(木) 2学年「木工制作Ⅱ」デザインとは、プレゼンテーション 11/28(木)
12	工業棟大講堂計画 卒業生作品展示
1	卒業生作品展示・発表
2	卒業制作発表(全学年授業) 1/22(水)
3	卒業制作作品展示、卒業制作展示
3	高大連携打ち合わせ(東海大学教員にて) 学年末工業棟大講堂計画

学校間連携教育 計画

1 村内教育推進協議会学校間連携部会の活動目標

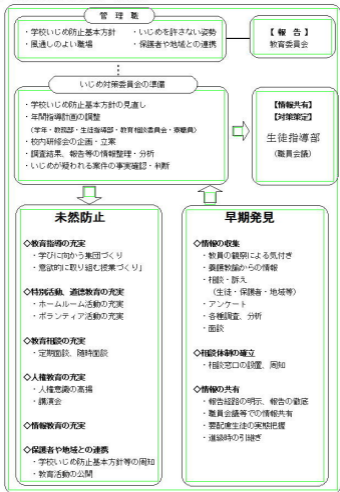
この部会は、豊かな心を育むために、幼小中高が連携を取り合って、異校種間の連携を図るとともに、地域の特色を生かし、他者や社会及び、自然・環境と直接的な体験活動の充実と環境教育やふるさと教育への幅広い取組をすすめる。

2 活動の内容

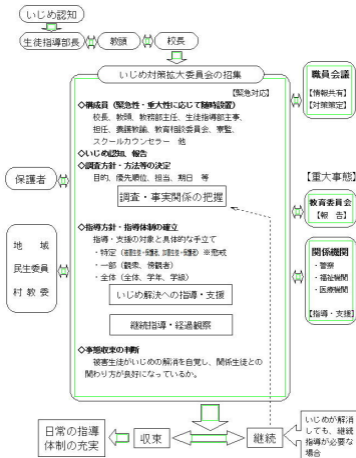
部会の協議により決定する。

いじめ対策

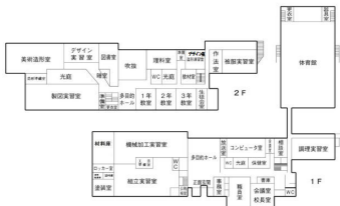
1 日常の指導体制（未然防止・早期発見）



2 重大事態・緊急時の組織対応



校舎平面図



施設設備の概要

1 図書室

分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
冊数	272	171	275	221	241	72	16	431	92	1326	3117

2 組立実習室・機械加工実習室

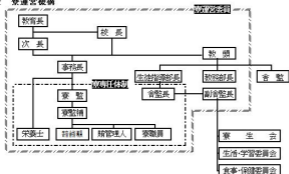
	品目	数量	品目	数量
1	自動一面鉋	1 20	ジグソー	2
2	手押鉋	1 21	ベルトサンダー	1
3	丸鋸昇降盤	1 22	木工旋盤	2
4	柄取機	1 23	ルーター	1
5	超仕上鉋	1 24	チェッパ	2
6	研磨機	1 25	チェンソー	3
7	角のみ機	2 26	帯鋸	2
8	糸鋸機	11 27	コーナーロッキングマシン	1
9	プレス	2 28	軸傾斜丸鋸盤	1
10	電動木彫機	5 29	ジャンピングクロスカットソー	1
11	ハンドルーター	2 30	ボーリングマシン	1
12	電気ドリル	2 31	丸棒削機	1
13	乾燥機	1 32	トリマー	4
14	ボール盤	3 33	補助ローラ	1
15	コンプレッサ	3 34	レーザー加工機	1
16	サンダー	2 35	スポンジサンダー	1
17	移動式実座機	3 36	卓上丸鋸盤	1
18	万能糸鋸盤	3 37	スピンドルサンダー	1
19	電動鋸	2 38	パネルソー	1

チセネシリ寮概要

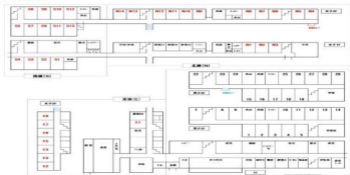
1 寮生数（平成31年4月10日現在）

	1年	2年	3年	合計
男子	9	14	12	35
女子	31	22	28	81
合計	40	36	40	116

2 寮運営機構



3 寮平面図

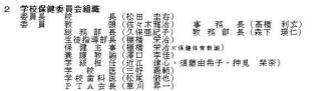
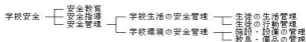


竣工 昭和55年11月30日
 昭和56年11月30日
 昭和57年11月30日
 昭和58年11月30日
 昭和59年11月30日
 昭和60年11月30日
 昭和61年11月30日
 昭和62年11月30日
 昭和63年11月30日
 昭和64年11月30日
 昭和65年11月30日
 昭和66年11月30日
 昭和67年11月30日
 昭和68年11月30日
 昭和69年11月30日
 昭和70年11月30日
 昭和71年11月30日
 昭和72年11月30日
 昭和73年11月30日
 昭和74年11月30日
 昭和75年11月30日
 昭和76年11月30日
 昭和77年11月30日
 昭和78年11月30日
 昭和79年11月30日
 昭和80年11月30日
 昭和81年11月30日
 昭和82年11月30日
 昭和83年11月30日
 昭和84年11月30日
 昭和85年11月30日
 昭和86年11月30日
 昭和87年11月30日
 昭和88年11月30日
 昭和89年11月30日
 昭和90年11月30日
 昭和91年11月30日
 昭和92年11月30日
 昭和93年11月30日
 昭和94年11月30日
 昭和95年11月30日
 昭和96年11月30日
 昭和97年11月30日
 昭和98年11月30日
 昭和99年11月30日
 平成00年11月30日
 平成01年11月30日
 平成02年11月30日
 平成03年11月30日
 平成04年11月30日
 平成05年11月30日
 平成06年11月30日
 平成07年11月30日
 平成08年11月30日
 平成09年11月30日
 平成10年11月30日
 平成11年11月30日
 平成12年11月30日
 平成13年11月30日
 平成14年11月30日
 平成15年11月30日
 平成16年11月30日
 平成17年11月30日
 平成18年11月30日
 平成19年11月30日
 平成20年11月30日
 平成21年11月30日
 平成22年11月30日
 平成23年11月30日
 平成24年11月30日
 平成25年11月30日
 平成26年11月30日
 平成27年11月30日
 平成28年11月30日
 平成29年11月30日
 平成30年11月30日
 平成31年11月30日

定員 男子116名、女子113名、合計229名

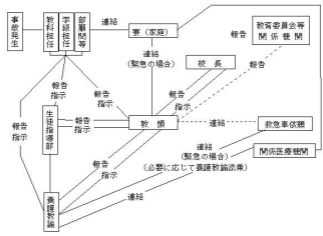
安全計画と安全管理

- 1 目的
 学校における保健及び安全教育、安全指導、安全管理に関する計画を立て、生徒及び教員の保健保持推進を図り、学校教育の円滑な実施とその効果の保持に努める。



3 事故発生時の処理経路（緊急時）

(1) 学校内



(2) 寮内



4 安全計画の内容

- (1) 安全管理に関する事項の設定と実施
 - ① 安全計画の策定
 - ② 施設・設備の点検
 - ③ 各教科・学年・部活動、休憩時間、その他の学校生活における安全指導
 - ④ 防火、防犯に関する事項(防災組織、避難場所、経路の点検、防災設備の点検等)
 - ⑤ その他必要な事項
- (2) 安全指導に関する事項
 - ① 学級・学年・部活動の安全指導
 - ② 交通安全指導
 - ③ 薬物指導
 - ④ 個別指導
- (3) 経路活動に関する事項
 - ① 保健委員会の活動等との連携
 - ② 消防署、警察等との連携
 - ③ 家庭、PTA等との連携

5 安全点検について

校舎内外の安全点検は毎日の生活のなかで配慮し、改善すべき箇所などは速やかに処理を行う。安全確保に常態化したため、各自留意すること。尚、安全点検日(月1回)は事故を未然に防ぐための実質的な点検であり、安全な学校環境を作るための点検日である。

6 教科教育の安全について

- (1) 実習教育の安全について
 - ① 実習教育は、保護者、整理整頓に努め、道具や用具、機械の使用法を確実に理解させ、安全に実施する。
 - ② 実習中は、作業の巡回指導を行う。免許制とし、電動機械類の使用は特に厳重に監督する。
 - ③ 特殊な作業は、難関、危険作業等については、精神的な準備や心身の障害のある生徒に対しては、事前の指導を行う。
 - ④ 作業工程に、危険な作業は、生徒に使用させないこととする。必要に応じて、作業の順序や作業の順序を、生徒に使用させないこととする。
 - ⑤ 作業工程に、危険な作業は、生徒に使用させないこととする。必要に応じて、作業の順序や作業の順序を、生徒に使用させないこととする。
 - 作業機械等の点検、検査等の作業
- (2) 理科教育及び家庭科実習教育の安全について
 - ① 実習教育は、保護者、整理整頓に努め、道具や用具、機械の使用法を確実に理解させ、安全に実施する。
 - ② 実習中は、作業の巡回指導を行う。免許制とし、電動機械類の使用は特に厳重に監督する。
 - ③ 特殊な作業は、難関、危険作業等については、精神的な準備や心身の障害のある生徒に対しては、事前の指導を行う。
 - ④ 作業工程に、危険な作業は、生徒に使用させないこととする。必要に応じて、作業の順序や作業の順序を、生徒に使用させないこととする。
 - ⑤ 作業工程に、危険な作業は、生徒に使用させないこととする。必要に応じて、作業の順序や作業の順序を、生徒に使用させないこととする。
 - 作業機械等の点検、検査等の作業

- ◇薬品の性質、使用目的、使用方法を十分に指導した上で生徒に使用させる。
- ◇実験の後、残った薬品や廃液等の処理について適切な指導を行う。

- (3) 健康を伴った作業、器具の取り扱い、安全確保と事故防止の指導を徹底する。
- ① 指導員は、作業の進捗状況を確認し、必要に応じて指導を行う。
 - ② 作業中、生徒の安全確保を最優先とし、必要に応じて作業を中止させる。
 - ③ 作業終了後、作業場を整理し、器具を適切に保管する。
 - ④ 作業中に発生した事故や怪我等は、速に報告し、適切な処置を行う。
 - ⑤ 作業中に発生した事故や怪我等は、速に報告し、適切な処置を行う。
 - ⑥ 作業中に発生した事故や怪我等は、速に報告し、適切な処置を行う。
 - ⑦ 作業中に発生した事故や怪我等は、速に報告し、適切な処置を行う。
 - ⑧ 作業中に発生した事故や怪我等は、速に報告し、適切な処置を行う。
 - ⑨ 作業中に発生した事故や怪我等は、速に報告し、適切な処置を行う。

7 防火防災安全教育について

- (1) 防火防災の教育(毎月第1月曜日 安全点検日と合わせて実施)
 - (2) 防火防災の教育(毎月第1月曜日 安全点検日と合わせて実施)
 - (3) 防火防災の教育(毎月第1月曜日 安全点検日と合わせて実施)
- 本校は、防火防災の教育を徹底し、生徒の安全確保を図るため、以下の通り実施する。
- ① 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ② 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ③ 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ④ 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ⑤ 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ⑥ 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ⑦ 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ⑧ 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。
 - ⑨ 防火防災の教育を毎月第1月曜日(安全点検日)と合わせて実施する。

8 自衛消防規定

第一章 総則

- 第1条 非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第2条 非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。

第二章 組織および任務

- 第3条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第4条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第5条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第6条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第7条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第8条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第9条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第10条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第11条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第12条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。

第三章 訓練

- 第13条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。
- 第14条 本校は、自衛消防組織を組織し、非常時の発生に際し、学校の被害を最小限に防止し、人命の安全を確保することを目的とする。

9 自衛防災組織表

本部長 (校長) 副本部長 (教頭) (事務長) 防火管理者 (教頭)	指揮・連絡調整係 (◎教頭・高橋・橋山) ○日常防火点検 ○避難訓練実施計画 ○火災時の警報受理 ○避難、消火、撤出命令 ○非常着、警報等への連絡
	避難経路確保係 (◎押見・須藤・近江) ○非常出口の確保 ○避難者の誘導 ○避難者の確認、本部への連絡
	撤出係 (◎西山・林・角南) ○重要物品の搬出 (校長室・職員室・事務室)
	初期消火係 (◎森下・杉浦・澤口(行)) ○消火栓 ○消火器 ○防火扉閉鎖
	救護係 (◎澤口(李)・久保・下川) ○救護用品の備蓄 ○負傷者の応急救護 ○搬送との連絡
	警備係 (◎榎橋・大原・三谷) ○校舎内外の警備
	連絡係 (◎教頭・全職員) ○火気使用状況 ○危険物の管理 ○防火設備設備の管理

10 各室管理責任者一覧 (火気管理責任者)

	室名	責任者		室名	責任者
1	校長室	高橋利玄	22	デッサン室	下川さつき
2	職員室・書庫	佐々木雅治	23	1年生教室	近江建心
3	事務室・印刷室	高橋利玄	24	2年生教室	須藤由希子
4	湯沸室	高橋利玄	25	3年生教室	押見榮希
5	職員ロッカー室	高橋利玄	26	生徒会室	大原一毅
6	多目的ホール	角南友繁	27	体育館・教官室	榎橋栄治
7	公務補室・ボイラー室	西山亮太	28	女子更衣室	押見榮希
8	放送室・コンピュータ室	杉浦誠耶	29	機械加工実習室	三谷佳典
9	小会議室	近江建心	30	材料庫	三谷佳典
10	相談室	角南友繁	31	工芸準備室	三谷佳典
11	保健室	澤口李佳	32	縫製室・ソーイング	久保亜紀子
12	物置・ダストプール	西山亮太	33	塗装室	澤口将達
13	図書室	森下瑛仁	33	塗料庫	澤口将達
14	縫製室・ソーイング	下川さつき	35	塗装乾燥室	澤口将達
15	デザイン実習室	下川さつき	36	男子更衣室	榎橋栄治
16	製図実習室・準備室	三谷佳典	37	職員・生徒玄関	西山亮太
17	暗室	須藤由希子	38	トレーニング室	榎橋栄治
18	理科室・準備室	林一浩	39	1F水飲み場・トイレ	澤口李佳
19	調理実習室	林一浩	40	2F水飲み場・トイレ	下川さつき
20	被服実習室	杉浦誠耶	41	縫製室・ソーイング	久保亜紀子
21	教材室	林一浩			

11 各室の安全点検項目

- (1) 電源
 - ・コンセントが過度のたこ足配線になっていないか。(1000w以上)
 - ・帰宅時にコンセントを抜いているか。(冷蔵庫等24時間使用するもの以外)
 - ・延長ケーブルは経年劣化していないか。
 - ・室内照明はつくか、放送スピーカーから音は聞こえるか、音量ダイヤルは回せるか。
 - ・換気扇スイッチが作動するか。
 - ・ガスコンセントに埃が溜まっていたり、焦げた跡はないか。
- (2) ガス・水道
 - ・ボイラー作動音に異常はないか。
 - ・帰宅時に電源を切り、元栓を閉めているか。
 - ・1か月以内でガス漏れ臭を感じた事がないか。
 - ・ガスボイラーの定期点検を行っている。(業者点検)
 - ・漏れはないか。
 - ・(12月～3月)帰宅時に水落としをしているか。凍結の恐れはないか。
 - ・排水溝に詰まりはないか。(下水臭はないか)
- (3) 消防設備
 - ・消防設備の安全封は破られていないか。
 - ・消火器の使用期限は切れていないか。
 - ・消火設備の前に物を置くなどして取り出しにくくなっていないか。
 - ・非常ベルは鳴るか、非常灯は表示されるか。(業者点検)
 - ・避難経路は、人が通れる道幅を確保しているか。
 - ・防火扉の可動域に物品が置かれていないか。
- (4) 破損状況
 - ・壁、床、天井に穴やひび、汚れ、落書き、水漏れ等の形跡はないか。
 - ・ガラスは割れていないか、開錠鍵は可能か、カーテン・網戸の破損はないか。
 - ・物置棚(机・椅子)にがたつき、キズ、改造はないか。
 - ・ゴミ箱は壊れていないか。
 - ・(冬季のみ)雪庇や軒下の雪山で窓ガラスに破損の恐れはないか。
- (5) 整理整頓
 - ・床に物が雑然と置かれていないか。
 - ・ゴミ箱内のごみ処理がなされているか。
 - ・居室内の清掃が適切に行われているか。
 - ・清掃用具は整理されているか。(数の過不足、片づけ状況)
 - ・机の並びは整然としているか。
 - ・窓枠の埃、チョーク受けやクリーナー内のチョーク粉等は掃除されているか。
- (6) その他
 - ・AEDのバッテリー残量は適正範囲内か。
 - ・担架や止血帯は、使用できる状態で設置されているか。
 - ・(職員室)さすまた、避難集合旗(赤旗)は整備されているか。
 - ・緊急避難時持ち出し物品はまとまっているか。
 - ・喫煙設備に不具合はないか。
 - ・部屋の大きさに対して適正量以上の物品が置かれていないか。
 - ・塗料・薬品等、危険物の保管、処理状況に問題はないか。
 - ・異臭・異音はないか。
 - ・前回点検時のチェック内容は改善されているか。
 - ・(恒常的に使用しない部屋は)その部屋施錠されているか。

